

令和4年度介護のしごとと魅力発信等事業
(情報発信事業)
業務報告書

2023年4月10日



事業の全体像

令和4年度の事業テーマ

- ①将来の介護人材である若年層
- ②その保護者世代かつ45歳以上の介護即戦力層
- ③世の中全体の介護職へのイメージチェンジを図るため、無関心層も含む社会全体にまで拡大ターゲット毎に細分化した施策を実施し、幅広い世代の意識転換を図る。



「GO!GO!KAI-GOプロジェクト」という共通フレームのもと、ターゲット毎に細分化した施策を実施し、幅広い世代の参加意識を向上させる。



ターゲット①

若年層

小学・中学・高校生を中心とする将来の介護人材層



ターゲット②

保護者世代&45歳以上の介護即戦力層

40代前後からの保護者層

45歳前後～アクティブシニアまで介護即戦力層



ターゲット③

社会課題関心層から無関心層も含む社会全体

福祉・介護のしごとの魅力を伝える各種イベントとテレビ・ウェブ番組を連動させた事業を計画。幅広い世代の参加意識を高めるため、この取組みを応援する各世代の著名人をアンバサダーに起用。イベントや福祉・介護現場等に参加してもらい、その体験を、連動する番組で共有し、視聴者の二次的体験につなげる。また、イベントの告知や結果を、テレビ（地上波・衛星波）・新聞・ウェブ・SNSで拡散し、効果的な情報発信を行う。

事業全体像

福祉・介護のしごとの楽しさ・面白さを伝えるGO!GO!KAI-GOプロジェクトの第2期を企画。各種イベント・施策とテレビ・ウェブ番組を連動させた事業を計画。幅広い世代の参加意識を高めるため、この取組みを応援する各世代の著名人を起用した「GO!GO!KAI-GO応援団」をリニューアルし、新たなメンバー構成で発信力を強化。様々なイベントや施策を展開し、『応援団』の活動と絡ませながら、テレビ（地上波・衛星波）・新聞・ウェブ・SNSで拡散し、日本全国への効果的な情報発信を行い、同時に各地域での発信もサポートいたしました。

テレビ・YouTube・SNS連動型番組『GO!GO!KAI-GO応援団』放映・配信 ／公式ウェブサイトのプラットフォーム化



大規模イベント開催
テレビ朝日・夏季イベント
「SUMMER STATION」



介護の日PR
&公式応援ソング
発表イベント
開催



大型シンポジウム
開催



小学生向け
イベント開催



全国の中学校・
高校での出張授業



保護者層
&教職員向け
「介護の仕事」
オンライン
ワークショップ



45歳前後向け
主婦コミュニティ
活用

Bon Marché



TIKTOKでの
若者向け施策展開



オンライン・
オフライン
媒体での情報発信



若年層、保護者世代および45歳前後からの介護即戦力層（アクティブシニア含む）
無関心層も含む社会全体

事業全体実施スケジュール

4・5・6月

7・8・9月

10・11・12月

1・2・3月

企画・イベント実施・取材撮影



GO!GO! KAI-GO応援団
Season2 始動



応援団アンバサダーの
イベント参加・体験の様
様を取材・撮影



出張授業



放送・配信・拡散

番組『GO!GO! K A I G O 応援団』 全4回シリーズ

- ・ 1～3回 15分～20分YouTube・特設サイトで配信。
- ・ 最終回30分 BS朝日にて2月上旬に放送。
- ・ テレビ朝日でプロジェクトのインフォマ（30秒）配信。
- ・ SNSでターゲットに短尺動画を発信し、視聴誘導を実施。



企画委員会メンバー

有識者、関係団体、現場実践者、シンクタンク、イベント事業者等で構成する企画委員会を設置。令和3年度事業でご協力いただいた企画委員の方々に加え、スペシャルアドバイザーを招聘し、本プロジェクトのコンテンツや情報発信をより有意義なものにすべく、その方向性について議論・検討し、本事業の効果を担保いたしました。年3回実施。

※新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、オンラインでの開催を基本とする。

福祉・介護の仕事等実践者



社会福祉法人京都福祉サービス協会
高齢福祉施設「本能」
「西院」施設長
同法人 地域共生社会推進センター代表

河本 歩美氏



未来をつくるkaigo
カフェ代表
介護福祉士・社会福祉士・ケアマネジャー

高瀬 比左子氏



NPO法人シニアライフセラピー研究所理事長
「カルチャースクール亀吉」経営

鈴木 しげ氏

学識経験者・有識者



大阪健康福祉短期大学
特任教授

川口 啓子氏



朝日学生新聞社
編集部長

清田 哲氏

スペシャルアドバイザー



クリエイティブ・ディレクター
一般社団法人KAiGO PRiDE代表理事

マンジョット・ペディ氏

<ファシリテーター>

コミュニティーカルティベーター（認知症当事者メディア「なかまある」創刊編集長

富岡 史穂氏

事業実施体制

厚生労働省

社会・援護局 福祉基盤課福祉人材確保対策室

テレビ朝日映像

<責任者>

ビジネス総局担当局長兼
コンテンツビジネス部長
岡崎 利貞

<現場統括/事業進行管理>

ビジネス総局
コンテンツビジネス部
ゼネラルプロデューサー
和田 勝彦

<事業進行管理>

ビジネス総局
コンテンツビジネス部
プロデューサー
成松 賢二

<制作担当>

ビジネス総局
コンテンツビジネス部
野口 瑞穂

協業：株式会社朝日新聞社

<運営統括責任者>

ソリューションデザイン部 次長 吉田 智紀

<現場責任者>

ソリューションデザイン部 川音 尚史

<進行責任者>

ソリューションデザイン部 平澤 歩

<進行責任者>

デジタルソリューション部 秋山 駿介

<進行担当者>

デジタルソリューション部 藤井 翔太

朝日学生新聞社



朝日学生新聞社

協力：株式会社テレビ朝日
株式会社BS朝日
株式会社テレビ朝日ミュージック
株式会社テレビ朝日メディアプレックス



tv asahi mediaplex

**プロジェクト連動番組
「GO!GO!KAI-GO応援団」**

『GO!GO!KAI-GO応援団』第2期メンバー

「楽しい!」「面白い!」を発信する幅広い世代のアンバサダーたちが応援団に加入!
テレビ番組・YouTube番組・SNS動画に出演して、福祉・介護業界を全力で応援!



福澤朗
応援団長



安藤なつ (メイプル超合金)
介護職経験者である副団長



篠田麻里子

AKB48のメンバーとして活動後、女優、タレント、モデルとして幅広く活躍。日本マザーズ協会公認「子育て応援・ママ応援大使」としても活躍中。



BUDDiis
(バディーズ)

結成時から SNS 上で話題に。MORRIE、SHOOT の TikTok フォロワーが 100 万人を突破し、au 三太郎シリーズの CM 楽曲を担当するなど勢いのあるダンス&ボーカルグループ



公式応援ソングアーティスト
井上苑子

女子中高生を中心に支持を集めるシンガーソングライター。女優としても活動。

実施施策・コンテンツ

GO!GO!KAI-GOプロジェクト 公式HP

■特設ウェブサイトをフルリニューアル！プロジェクトのプラットフォームとして機能

特設サイトのデザインを一新し、閲覧者のユーザビリティを高め、プロジェクトの情報が集積されたプラットフォームとして機能させ、発信力を高めました。



特別番組 | イベントレポート | イベント

✓ トップページ右上にグローバルナビを設け、各コンテンツに遷移しやすく設計

✓ YouTube番組をはじめとする各種コンテンツは、直感的なリンクを設け、閲覧を促しました。

✓ 公式SNSのタイムラインを埋め込み、テレビ・WEB・SNSの連動感を高めるとともに、ウェブサイトとしてのコンテンツの活性化を図りました。

URL:<https://www.asahi.com/ads/gogo-kaigo/>

WEB PV数
43,809回

2023年3月31日現在

キックオフミーティング



想定ターゲット
若年層



無関心層含む
社会全体

■テレビ朝日・六本木ヒルズ SUMMER STATION

毎年テレビ朝日が主催する夏の大規模イベントとコラボレーションし、福祉・介護の仕事の魅力を伝えるステージを実施。応援大使のプロジェクトリーダー・福澤朗氏をはじめ、若年層代表の出演者にも登壇いただき、「Go! Go! KAI-GO プロジェクト」のローンチを大々的に発表。



イベント概要

- ✓ イベント名：テレビ朝日・六本木ヒルズ サマーステーション
- ✓ 開催時期：7月23日（土）～8月28日（日）37日間開催
- ✓ 開催場所：六本木ヒルズ全体及びテレビ朝日本社
- ✓ 実施方法：リアル開催
- ✓ 来場者数：延べ約223万人（2022年）

「GO!GO!KAI-GO応援団2022始動！～キックオフミーティング～」 開催日時：8月2日 14時00分

考察：TV局主催イベント実施による番組露出やタレントSNSにおける情報拡散



応募数
611件

「GO!GO!KAI-GO応援団 シーズン2」

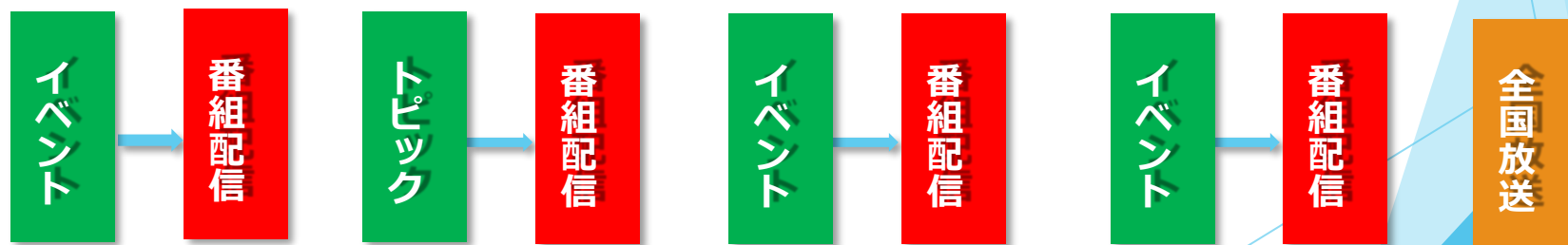
<番組概要>



国民的アナウンサー・福澤朗さんを中心に「本プロジェクトの盛り上げ役となって、介護・福祉の世界で活躍する人々を応援したい!」と、個性豊かな著名人たちが“応援団”を結成。メンバーがイベントに参加したり福祉・介護のしごとを体験したりしながら、その魅力をレポートするのが、当プロジェクト連動番組『GO!GO!KAI-GO応援団』（YouTubeによる配信/BS朝日による放送）です。

シニア世代に差し掛かる福澤さんを筆頭に、20~30代の若者世代のモデル・アイドル、子育て中ママタレント、介護職経験のあるお笑い芸人など、多世代の異能メンバーたちが、福祉・介護の最前線に飛び込んで大奮闘。その中で得た発見や感動、仕事のやりがいなどを発信・共有しました。

若者からアクティブシニアまで、幅広い世代への認知度をもつ福澤朗さんだけでなく、ターゲット層毎に訴求力のある出演者を起用することで、福祉・介護のしごとのイメージアップを図り、参入意欲を刺激しました。



それぞれのイベント施策やトピックテーマと連動させた番組を制作・発信

各回テーマと配信回数

想定ターゲット
若年層



想定ターゲット
保護者世代 & 45歳
以上の介護即戦力層



無関心層含む
社会全体



YouTube

再生回数
41,687回

2023年3月31日現在

#1 「GO!GO!KAI-GO応援団、シーズン2始動！」



YouTube

再生回数
40,739回

2023年3月31日現在

#2 「みんなをつなぐ新時代の福祉施設」



YouTube

再生回数
40,415回

2023年3月31日現在

#3 「ただいま制作中！福祉・介護の応援ソング！」



YouTube

再生回数
143,935回

2023年3月31日現在

公式応援ソング「となりあい」/井上苑子 フル楽曲



2023年2月11日15時00分～全国放送

BS朝日

接触率

0.1%

5万世帯12万人
視聴

見逃し配信
144,774回

YouTube

2023年3月31日現在

配信コンテンツ #1 「GO!GO!KAI-GO応援団シーズン2始動！」

想定ターゲット
若年層



想定ターゲット
保護者世代 & 45歳
以上の介護即戦力層



無関心層含む
社会全体



▼概要

福祉・介護の未来を変えるプロジェクト GO!GO! KAI-GOのシーズン2が始動！サマステに全員集合！各々が思いを語る。介護と福祉の仕事を盛り上げて行くためにやるべき事やりたい事。

2022年、夏。GO!GO! KAI-GO応援団が、満を辞して再結成！団長はもちろん、福祉の未来に情熱を燃やす人気アナウンサー、福澤朗。副団長は、ボランティアを含め介護職歴20年の大ベテラン、メイプル超合金・安藤なつ。

そして、2人と共に新たなメンバーが応援団として参加！女優、タレント、モデルとして幅広く活躍中、篠田麻里子。2020年に結成されたダンス&ボーカルグループ、BUDDiiS。若者に絶大な人気を誇るシンガーソングライター、井上苑子。このメンバーで介護と福祉の仕事を盛り上げて参ります！



URL: <https://www.youtube.com/watch?v=GI3ICdNZM-g>



再生回数
41,687回

2023年3月31日現在

配信コンテンツ # 2 「みんなをつなぐ新時代の福祉施設」

想定ターゲット
若年層



想定ターゲット
保護者世代 & 45歳
以上の介護即戦力層



無関心層含む
社会全体



BUDDiis&井上苑子
話題の福祉施設に潜入!!



Mission
福祉施設の最前線のレポート



気持ち良いな 外でコロッケ食うの

▼概要

福祉・介護の未来を変えるプロジェクト
GO!GO! KAI-GOのシーズン2 第二段！
今回、福祉施設の最前線をレポートするのは、
GO!GO!KAI-GO応援団の新メンバー、
BUDDiis のリーダーFUMINORIと、グループ最年少でダンスが得意な
FUMIYA、そしてシンガーソングライターの井上苑子。

今回向かったのは、神奈川県愛甲郡・春日台センターセンター。
応援団員が気合十分で訪問したものの、福祉施設とは思えないほど
のお洒落な施設に一行はすっかりカフェ気分...
ランドリーやコロッケスタンド、寺子屋、フリースペース、
フリーWi-Fi、常識では考えられなかった福祉施設に一同驚き！

URL: https://www.youtube.com/watch?v=w2_OxIIFgXY



再生回数
40,739回

2023年3月31日現在



▼概要

福祉・介護の未来を変えるプロジェクト
GO!GO! KAI-GOのシーズン2 第三段！

今回向かったのは、東京都足立区にある「東京未来大学」。
我々が公式応援ソングアーティスト・井上苑子が、
GO!GO!KAI-GO応援団 福澤朗 団長にオリジナルソングを披露！

制作開始から約3ヶ月！気になるその進み具合とは..

URL: <https://www.youtube.com/watch?v=lv3y0aNwpXo>



再生回数
40,415回

2023年3月31日現在



▼BS朝日 番組タイトル 「ニッポンの福祉・介護にエールを！ ～GO!GO!KAI-GO応援団～」

▼放送
2023年2月11日土曜 15時00分～15時30分 OA

▼概要

「ニッポンの福祉・介護を盛り上げたい！」と願うメンバーたちが集結し、さまざまな現場やイベントに参加しながら、福祉・介護の仕事の楽しさや大切さを発信する「GO!GO!KAI-GO応援団」のスペシャル番組が誕生！
応援団長・福澤朗を筆頭とする個性豊かなメンバーたちは、この半年間でどんな人々に出逢い、どんなことを学んできたのか？それぞれの活動をVTRで振り返りながら、お互いの体験や発見を共有。福祉・介護業界を応援するスペシャルゲストとともに、福祉の仕事のカッコよさとニッポンのあるべき未来を熱く語り合う。
さらに、若者たちに人気のシンガーソングライター・井上苑子が、福祉・介護をテーマにしたオリジナルソングを創作し、スタジオで初披露！福祉業界で働くすべての人々に笑顔と勇気をお届けする

2023年3月31日現在

接触率
0.1%
5万世帯12万人
視聴

見逃し配信
144,774回

▼出演

福澤 朗、安藤なつ、篠田麻里子、BUDDiis、井上苑子、マンジョット・ペディ

▼番組公式サイト

<https://www.bs-asahi.co.jp/gogo-kaigo-2/>

▼見逃し配信

<https://www.youtube.com/watch?v=T7kwaUjXFww>



GO!GO!KAI-GOプロジェクト公式応援ソング/井上苑子「となりあい」楽曲制作 2023年3月31日リリース!



「となりあい」 作詞・作曲 井上苑子

冷たい風が吹く 君が寒そうに鼻すする
なんでそんなに薄着なのって
また口うるさく言っちゃうよ
靴紐結び直すからって 走って先に行かないで
ちゃんと待っててあげるからね 置いていかないから
僕らもずっとここでずっと
隣り合わせで過ごしたいから
なんとなくでも喧嘩していても
寄り添いあっているような
離れてしまわないように
君の匂いがする距離でいたい
なんでもない話を 朝が来るまで
ちょっと不機嫌なこともあるし
とめどなく泣いたりするけど
僕ら補い合って 歩み寄って変わらない日々を

令和4年度「GO!GO!KAI-GO応援団」の目玉企画として、シンガーソングライター井上苑子さんが制作した番組オリジナル曲「となりあい」。
井上さん自身が福祉・介護の現場を訪ね、多くの人々との出会いや発見からインスピレーションを受けて作詞・作曲した、福祉・介護に携わるすべての人々への応援歌です。

今年3月31日にリリースされた井上苑子EPアルバム「23.3.31」にも収録。
各種サブスクリプションサービスでの配信も予定されています。

GO!GO!KAI-GOプロジェクト公式にて **143,935回**
楽曲フル動画配信

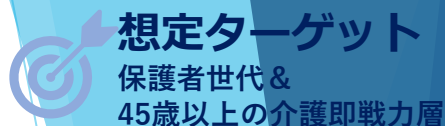
再生回数

2023年3月31日現在



心温まる楽曲を通じて、福祉・介護の魅力とメッセージを若い世代へ届けました。

小学生向けイベント



■朝小サマースクール2022

朝日学生新聞社が主催する小学生向けの夏休みイベント「朝小サマースクール」と連動し、子どもたちが介護の仕事について学ぶキャリア教育の機会を創出。介護事業者の方を講師にお招きし、子どもたちにも介護を身近に感じてもらえるテーマで授業を実施いたしました。



イベント概要

- ✓ イベント名：朝小サマースクール 2022
- ✓ 告知期間：6月17日～7月3日
- ✓ 開催期間：7月16日、17日 11:00～18:00
- ✓ 実施方法：オンライン開催
- ✓ 参加方法：事前登録制
- ✓ 総参加者数：**3,473人**（応募数8181）
- ✓ 実施内容：60分間の授業

2007年に始まった本イベントは、小学生の親子にとって夏恒例の良質な教育型イベントとして好評を博しました。
（累計10万人以上の子どもと保護者が参加）。2022年はオンライン開催三年目となり、日本全国から3,400人を超える視聴者を集めることに成功しました。授業の聴講意欲の高い子どもたちに、介護の仕事を身近に感じてもらう絶好の機会となりました。

2日間6講座
総参加者数
3,473人

<2022年度実施授業テーマ>

特技で夢をかなえる～KAIGOというおしごと～ 開催日時:令和4年7月17日 13:00



・授業内容

講師の高瀬比佐子さんは「高齢の人や障害のある人が安心して生活できるように支えるのが介護の仕事です」と説明。旅行が趣味という介護福祉士の藤田直人さんは、体の不自由な人の旅行に付きそう「旅行介助士」を紹介しました。レクリエーションが好きな若山克彦さんは、人々が笑顔になることに喜びを感じ、専門的に学びレクリエーション介護士の資格を取得。介護の仕事には自分の趣味や特技を生かすチャンスがあることを学びました。

※今年度 集計 アーカイブ数
参加者 **130+230回** = **360回**
2023年3月31日現在

のべ再生回数
360回

授業が面白かった **約90%**

（「とても面白かった」56.7%
「面白かった」33.3%）

介護のイメージが良くなった
約96.5%



・講師

未来をつくるkaigoカフェ 高瀬比左子さん

・特別ゲスト

レクリエーション介護士 若山克彦さん
介護福祉士 藤田直人さん

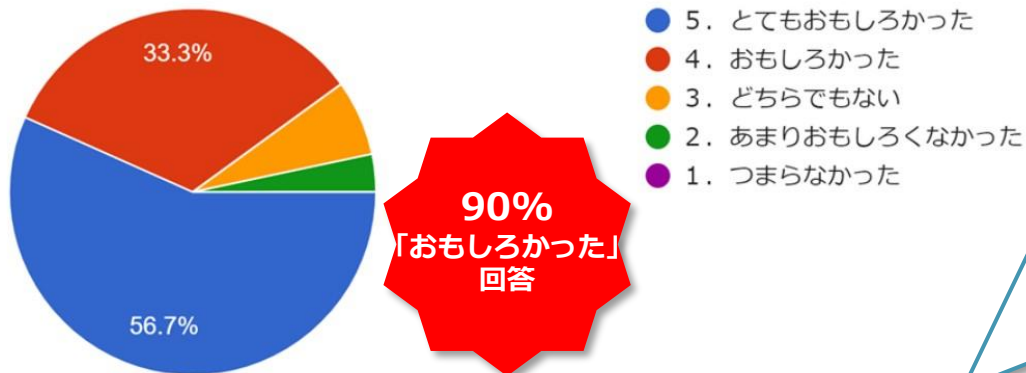
小学生向けイベント 評価

■朝小サマースクール2022

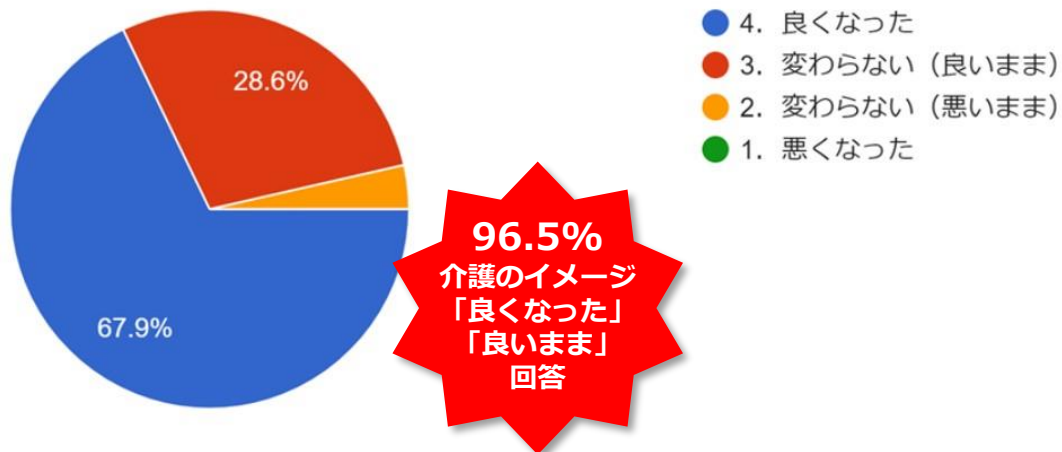
▼アンケート結果



本日の授業内容はおもしろかったですか？



今回の授業を聞いて、介護に対するイメージは変わりましたか？



想定ターゲット
若年層



想定ターゲット

保護者世代 &
45歳以上の介護即戦力層

＜自由回答の抜粋＞

・介護のお仕事について3人の方から学んで、とてもいいお仕事だなと思いました。また、自分の特技がお年寄りの方などが楽しんでくれることがとても素敵なことだと思いました。

・最初、介護は大変な仕事だと思っていたけど、話を聞いたら楽しい仕事なんだなと思いました。

・旅行介助士とレクリエーション介護士という職業を初めて知りました。お二人とも楽しんで仕事をされている様子がとても伝わってきました。これからの日本に必要な職業だと思います！

・わか先生のような、レクリエーション介護士はやっていてとても楽しそうだなと思った。

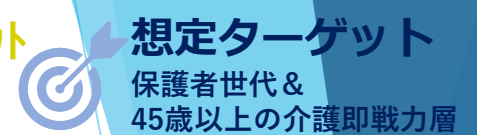
・3人ともすごくわかりやすかったです。介護に親近感が湧きました。また聞きたいです！

小学生向けイベント

■朝小サマースクール2022

▼紙面告知：掲載日 6月17日/朝日小学生新聞 全15段カラー

考察：福祉介護の仕事の存在や内容の認知、またその親近感の醸成ができた



▼採録：掲載日 8月07日/朝日小学生新聞 全15段カラー

朝日小学生新聞
6/17、19、23、
25、26、27、
29、7/1、3、
8/7掲載

朝日小学生新聞
105,284部発行
×計10回掲載
105万2840人
購読

中学高校での出張授業



■全国の中学校・高校で出張授業開催

全国の中学生・高校生を対象に、介護の仕事の面白さ・楽しさを伝える出張授業を開催いたします。前年度開催したところ、募集枠5校に対し、86校からの応募が集まり、教育現場での出張授業のニーズの高さを実感いたしました。将来を見据えて介護の仕事の楽しさを伝え、地域と交流を深める方法について生徒たちと双方向に話し合いながら、自然と介護職へと興味を抱かせる授業を実施いたしました。



イベント概要

- ✓ イベント名：GO! GO! K A I - G O プロジェクト特別授業
- ✓ 開催時期：2022年11月～2023年1月
- ✓ 実施回数：全国5か所 1か所あたり1～2時限分
- ✓ 募集方法：朝日中高生新聞に募集告知を掲載、
- ✓ 実施方法：リアル開催
- ✓ 授業内容：1時限目>導入、介護事業者の方の講演（50分間）
2時限目>グループワーク&発表、（40分）質疑応答（10分）
- ✓ 講師：未来をつくる介護カフェ 高瀬比左子氏、各地域の介護事業者や従事者の方

▼応募数 全86校の中から5校を選定（2022年度）

	学校名	日付	曜	学年	学級数	参加数
1	宮城県仙台第二高等学校 宮城県仙台市青葉区川内澱橋通1	11月7日	(月)	高1	8	320
2	横浜雙葉中学校 神奈川県横浜市中区山手町88	12月7日	(水)	中3	4	185
3	板橋区立志村第三中学校 東京都板橋区坂下2-21-1	12月13日	(火)	中2	5	165
4	沖縄県立八重山高等学校 沖縄県石垣市登野城275	1月16日	(月)	高2	6	240
5	枚方市立中宮中学校 大阪府枚方市堂山1-2-6	1月27日	(金)	中2	5	167



<グループワークテーマ>

困ったときに助けあえる関係をつくるには
地域の人とつながる必要があります。

「地域でいろんな世代の人が交流するための
アイデアを3つ考えてください」

中学高校での出張授業



介護・福祉の専門家と「介護のやりがい」「地域共生社会」などについて学びました

宮城県
宮城県仙台第二高等学校
高校1年生320名が参加

ゲスト講師 社会福祉法人 ライフの学校
理事長 田中伸弥さん



『支えあって、学びあって、すべてのひとの人生を豊かに』という方針のもとに行った「施設に駄菓子屋をつくり小学生と交流」「高齢者が保育園児に裁縫を教える」「障害のある方が畑で育てた野菜を地域の方に販売」といった共生の取り組みが紹介されました。取り組みは、いろいろな世代の参加者から高い評価を受けたそうです。



神奈川県
横浜雙葉中学校
中学3年生185名が参加

ゲスト講師 社会福祉法人 小田原福祉会
潤生園 施設長 井口健一郎さん



「市民を介護で困らせない」のが施設の使命と力強く語り、地域共生の取り組みとして、料理教室で小学生から高齢者までが交流していること、デイサービスの利用者が小学校へ雑巾を縫って寄附したこと、施設内に「町の保健室」をつくり誰もが気軽に集まれる場所づくりなどが紹介されました。



東京都
板橋区立志村第三中学校
中学2年生165名が参加

ゲスト講師 社会福祉法人 不二体育会
ケアポート板橋 施設長 宇津木忠さん



地域において世代を超えた共生アイデアについてグループワークを行なった後、「板橋特産の大根を使った地域特有のお祭りを開催する」「お手玉、あや取り、羽子板など昔遊び大会」「地域の人たちが交流でき楽しめる餅つき大会」「毎朝、顔を合わせ仲良くなるラジオ体操」などのアイデアが発表されました。



沖縄県
沖縄県立八重山高等学校
高校2年生240名が参加

ゲスト講師 うらそえ介護福祉士会
会長 与那覇涼さん、副会長 安保奈緒さん



異なる介護事業所の従業員と一緒に地域活動を展開する拠点として生まれたのが「うらそえ介護福祉士会」です。特に若い世代に高齢者への理解を深め「お互いに支えあう」社会づくりを進めています。高校生介護技術コンテスト、介護技術の出前講座、認知症サポーター養成講座などを開催したことを紹介しました。



大阪府
枚方市立中宮中学校
中学2年生167名が参加

ゲスト講師 社会福祉法人 桃林会
とりかい白鷺園 施設長 百武昭彦さん



百武さんやスタッフの方たちが「何よりも高齢者の方との会話が楽しいです」「好きな遊び、イベントなどで利用者さんが笑顔になるのが嬉しい」「ありがとうの一言、また求められる対応をして利用者さんが穏やかな表情になったときなどが役に立てたと思えます」と仕事のやりがいを紹介してくれました。



主催／朝日中高生新聞 共催／GO! GO! KAI-GOプロジェクト(厚生労働省補助事業) <https://www.asahi.com/ads/gogo-kaigo/>

※今年度はすべてリアル開催となりました。

中学高校での出張授業



想定ターゲット
若年層

■全国の中学校・高校で出張授業開催

▼紙面告知：掲載日2022年6月26日/朝日中高生新聞

▼採録：掲載日2023年3月5日/朝日中高生新聞 全15段カラー

介護の仕事のやりがい・魅力を通じて地域共生を学んだよ

長生きして良かった、と思える社会をつくってこう!

介護、福祉分野へ多くの人に関心を持ってもらうことを目的に、今年も厚生労働省補助事業「GO! GO! KAI-GO プロジェクト」が展開されました。その一環として、全国の中高生向けに出張授業「介護から豊かさを学ぶ」が行われ、介護の仕事、高齢化社会の在り方、そして共生社会などについて考えました。

「人が暮らし、豊かに生きるための社会をつくること」をテーマに、介護の仕事を通して地域共生社会について学びました。

「介護の仕事は、高齢化社会を支える重要な役割を果たしています。また、高齢者だけでなく、障害者や認知症患者のケアにも関わります。介護の仕事は、人々の生活を支えるだけでなく、社会の発展にも貢献しています。」

「介護の仕事は、人々の生活を支えるだけでなく、社会の発展にも貢献しています。また、高齢者だけでなく、障害者や認知症患者のケアにも関わります。介護の仕事は、人々の生活を支えるだけでなく、社会の発展にも貢献しています。」

出張授業 夢加収募集

介護から豊かさを学ぶ

介護から考えるコミュニケーション・つながり

高齢化社会について考えることが重要です。介護の仕事を通して地域共生社会について学びました。

「介護の仕事は、高齢化社会を支える重要な役割を果たしています。また、高齢者だけでなく、障害者や認知症患者のケアにも関わります。介護の仕事は、人々の生活を支えるだけでなく、社会の発展にも貢献しています。」

「介護の仕事は、人々の生活を支えるだけでなく、社会の発展にも貢献しています。また、高齢者だけでなく、障害者や認知症患者のケアにも関わります。介護の仕事は、人々の生活を支えるだけでなく、社会の発展にも貢献しています。」

主催/朝日中高生新聞 共催/GO! GO! KAI-GOプロジェクト(厚生労働省補助事業)

介護・福祉の専門家と「介護のやりがい」「地域共生社会」などについて学びました

実施校	参加人数	実施日時
宮城県 宮城学院第二高等学校	高校1年生320名が参加	2023年3月2日
神奈川県 横浜共立高等学校	高校2年生185名が参加	2023年3月3日
東京都 新橋区立立花第三中学校	高校2年生165名が参加	2023年3月4日
沖縄県 沖縄県立八重山高等学校	高校2年生240名が参加	2023年3月5日
大阪府 枚方市立中央中学校	高校2年生167名が参加	2023年3月6日

「介護の仕事は、人々の生活を支えるだけでなく、社会の発展にも貢献しています。また、高齢者だけでなく、障害者や認知症患者のケアにも関わります。介護の仕事は、人々の生活を支えるだけでなく、社会の発展にも貢献しています。」

「介護の仕事は、人々の生活を支えるだけでなく、社会の発展にも貢献しています。また、高齢者だけでなく、障害者や認知症患者のケアにも関わります。介護の仕事は、人々の生活を支えるだけでなく、社会の発展にも貢献しています。」

主催/朝日中高生新聞 共催/GO! GO! KAI-GOプロジェクト(厚生労働省補助事業) <https://www.asahi.com/dss/gogo-4igo/>

朝日中高生新聞
発行部数
40,861部×2回
81,722人
購読

中学高校での出張授業



想定ターゲット
若年層

<第1回目：11/07実施 宮城県仙台第二高等学校>

- ▼対象：高校1年生 8学級 320名
- ▼授業時間：13:00～13:45 1時限分（45分間）
- ▼講師：未来をつくるkaigoカフェ 高瀬比左子さん
社会福祉法人ライフの学校理事長 田中伸哉さん
（令和2年度 朝日新聞社受託 介護事業 企画委員、Reライフ セミナー動画出演）
- ▼授業内容：「支えあって、学びあって、すべてのひとの人生を豊かに」という方針のもとに行った「施設に駄菓子屋をつくり小学生と交流」「高齢者が保育園児に裁縫を教える」「障害がある方が畑で育てた野菜を地域の方に販売」といった共生の取り組みが紹介されました。取り組みは、いろいろな世代の参加者から高い評価を受けたそうです。



高瀬比左子さん
SNSより

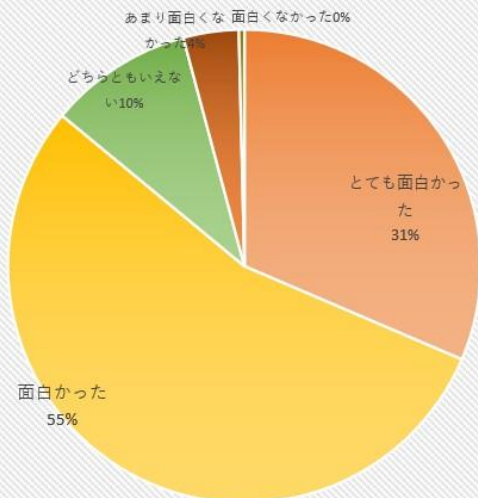
中学高校での出張授業 評価



想定ターゲット
若年層

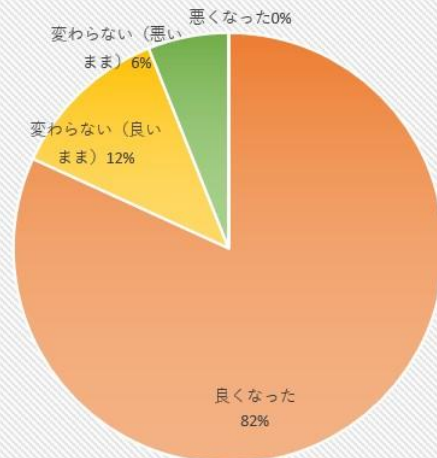
〈第1回目：11/07実施 宮城県仙台第二高等学校〉

Q1 出張授業は面白かったですか。



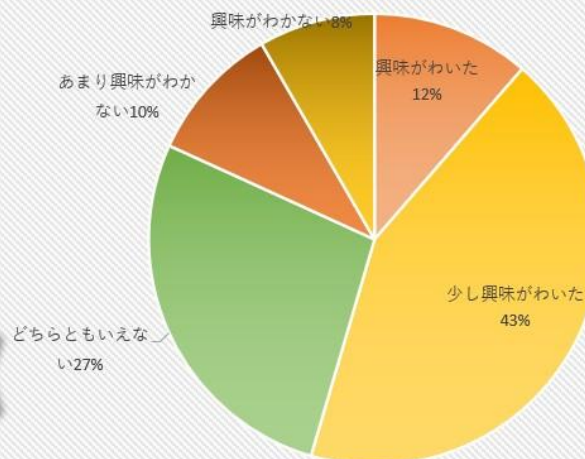
86%が
「面白かった」

Q2 授業を受けてみて、「介護」という仕事についてイメージは変わりましたか。



82%が
イメージUP

Q3 将来の職業の選択肢として、「介護」という仕事に興味はわきましたか。



55%が
介護の仕事に
興味UP

中学高校での出張授業



想定ターゲット
若年層

<第2回目：12/07実施 横浜雙葉中学校>

▼対象：中学3年生 4学級 185名

▼授業時間：12:45～14:45 2時限分（120分間）

▼講師：未来をつくるkaigoカフェ 高瀬比左子さん

社会福祉法人 小田原福祉会 特別養護老人ホーム潤生園施設長 井口健一郎さん

<https://junseien.jp>

▼授業内容：「市民を介護で困らせない」のが施設の使命と力強く語り、地域共生の取り組みとして、料理教室で小学生から高齢者までが交流していること、デイサービスの利用者が小学校へ雑巾を縫って寄付したこと、「町の保健室」をつくり誰もが気軽に集まれる場所などが紹介されました。



高瀬比左子さんSNSより

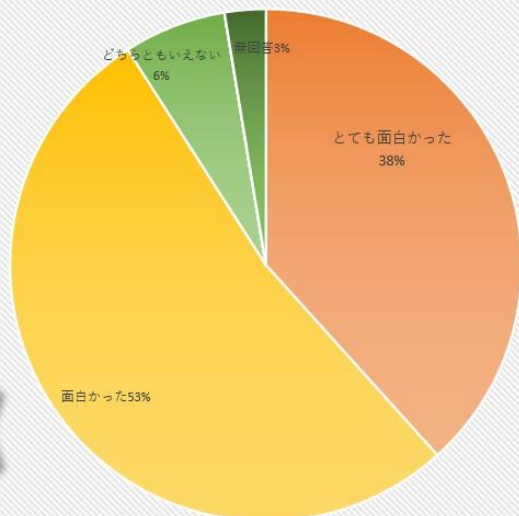
中学高校での出張授業 評価



想定ターゲット
若年層

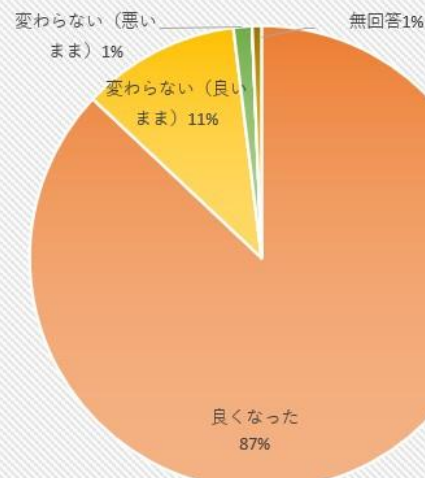
<第2回目：12/07実施 横浜雙葉中学校>

Q1 出張授業は面白かったですか。



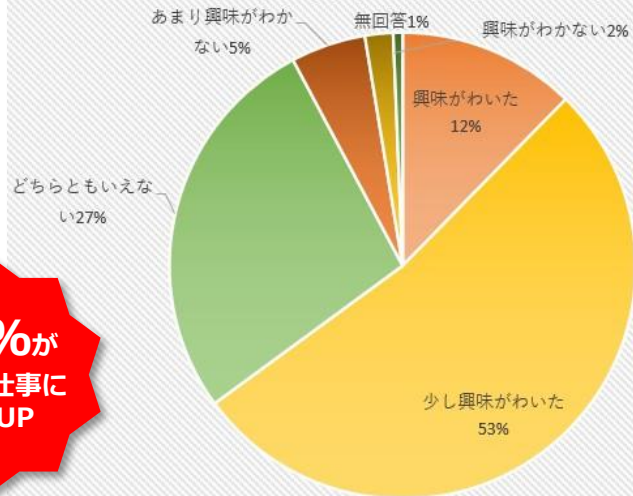
91%が
「面白かった」

Q2 授業を受けてみて、「介護」という仕事についてイメージは変わりましたか。



87%が
イメージUP

Q3 将来の職業の選択肢として、「介護」という仕事に興味はわきましたか。



53%が
介護の仕事に
興味UP

中学高校での出張授業



想定ターゲット
若年層

<第3回目：12/13実施 板橋区立志村第三中学校>

▼対象：中学2年生 5学級 165名

▼授業時間：13:30～15:20 2時限分（110分間）

▼講師：未来をつくるkaigoカフェ 高瀬比左子さん

社会福祉法人 不二健育会 特別養護老人ホームケアポート板橋施設長 宇津木忠さん
介護職の方 3名 <http://www.fujikenikukai.or.jp>

▼授業内容：地域において世代を超えた共生アイデアについてグループワークを行った後、「板橋特産の大根を使った地域特有のお祭りを開催する」「お手玉、あや取り、羽子板など昔遊び大会」「地域の人たちが交流でき楽しめる餅つき大会」「毎朝、顔を合わせ仲良くなれるラジオ体操」などのアイデアが発表されました。



未来をつくるkaigoカフェ
SNSより

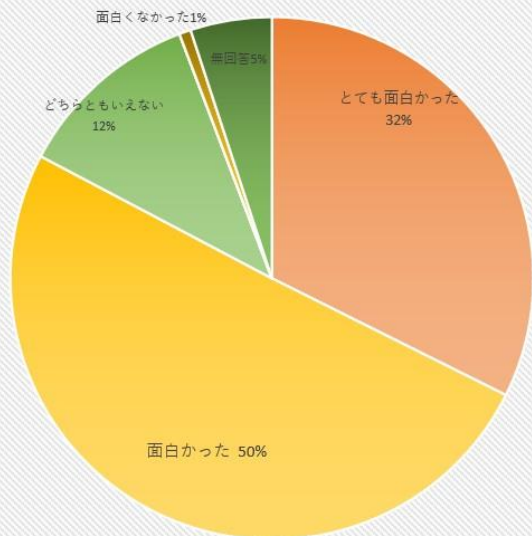
中学高校での出張授業 評価



想定ターゲット
若年層

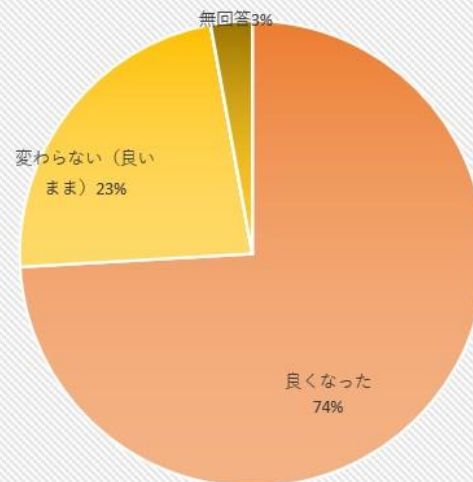
<第3回目：12/13実施 板橋区立志村第三中学校>

Q1 出張授業は面白かったですか。



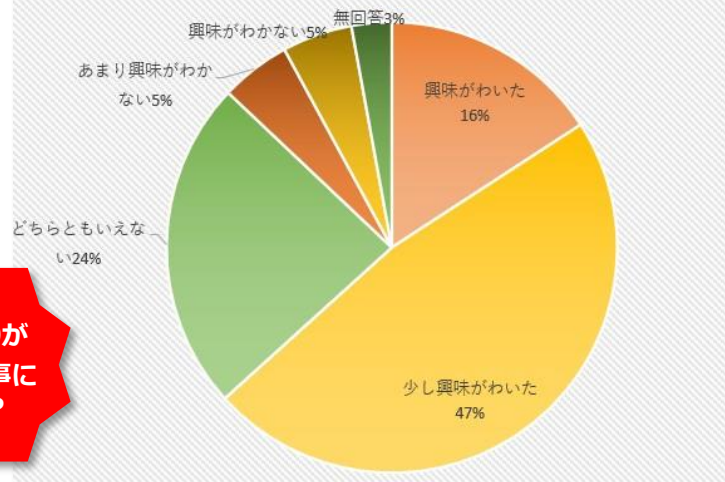
82%が
「面白かった」

Q2 授業を受けてみて、「介護」という仕事についてイメージは変わりましたか。



74%が
イメージUP

Q3 将来の職業の選択肢として、「介護」という仕事に興味がありましたか。



47%が
介護の仕事に
興味UP

中学高校での出張授業



想定ターゲット
若年層

<第4回目：1/16実施 沖縄県立八重山高等学校>

- ▼対象：高校2年生 4学級 240名
- ▼授業時間：10:05～11:55 1時限×2回（2クラスずつで実施）
- ▼講師：未来をつくるkaigoカフェ 高瀬比左子さん
うらそえ介護福祉士会 与那覇涼さん、安保奈緒さん
石垣島 介護職員の方 2名
- ▼授業内容：異なる介護事業所の従業員と一緒に地域活動を展開する拠点として生まれたのが「うらそえ介護福祉会」です。特に若い世代に高齢者への理解を深め「お互いに支えあう」社会づくりを進めています。高校生介護技術コンテスト、介護技術の出前講座、認知症サポーター養成講座などを開催したことを紹介しました。



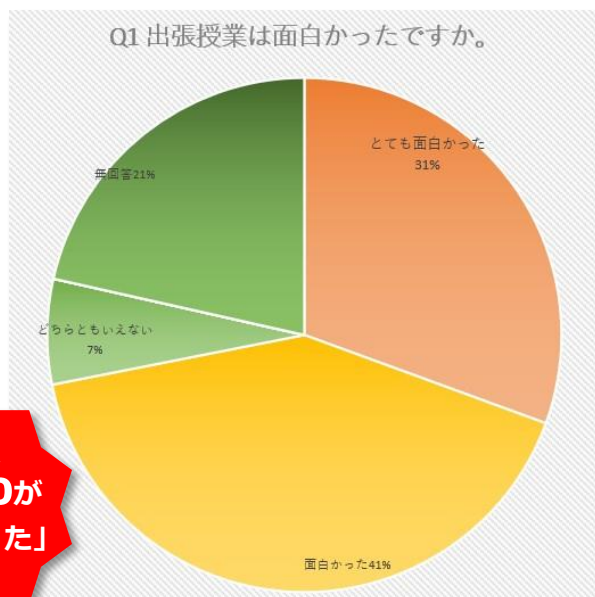
未来をつくるkaigoカフェSNSより

中学高校での出張授業 評価

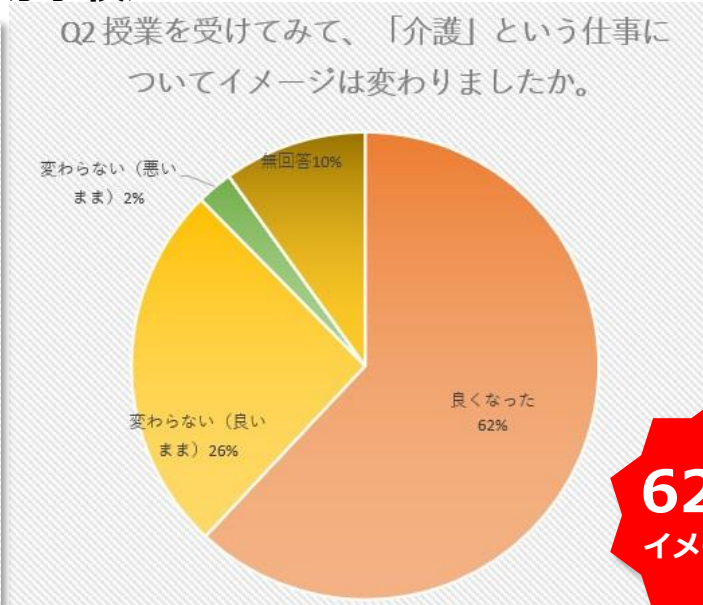


想定ターゲット
若年層

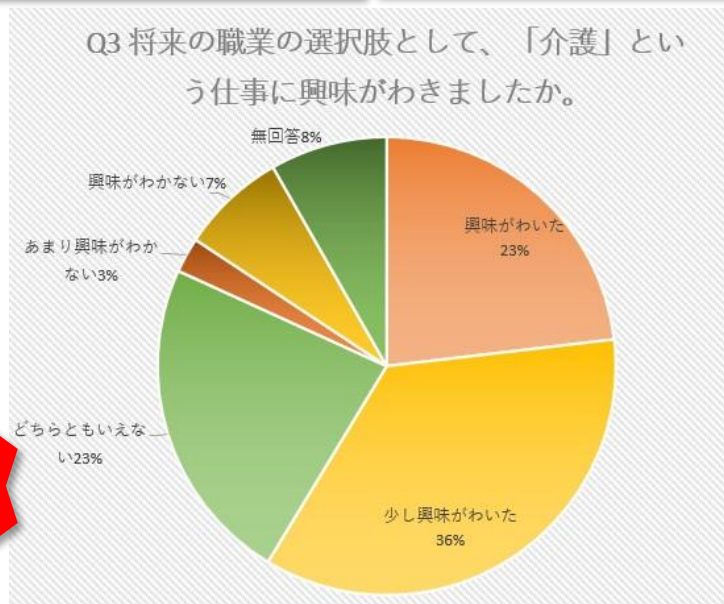
<第4回目：1/16実施 沖縄県立八重山高等学校>



72%が
「面白かった」



62%が
イメージUP



59%が
介護の仕事に
興味UP

中学高校での出張授業



想定ターゲット
若年層

<第5回目：1/27実施 大阪府・枚方市立中宮中学校>

- ▼対象 象：中学2年生 5学級 167名
- ▼授業時間：13:35～15:25 2時限分（110分）
- ▼講師：未来をつくるkaigoカフェ 高瀬比左子さん
社会福祉法人桃林会 とりかい白鷺園 施設長 百武昭彦さん
介護職員の方 2名
- ▼授業内容：百武さんやスタッフの方たちが「何よりも高齢者の方との会話が楽しいです」
「好きな遊び、イベントなどで利用者さんが笑顔になるときが嬉しい」「ありがとうの一言、
また求められる対応をして利用者さんが穏やかな表情になったときが役に立てたと思えます」
と仕事のやりがいを紹介してくれました。



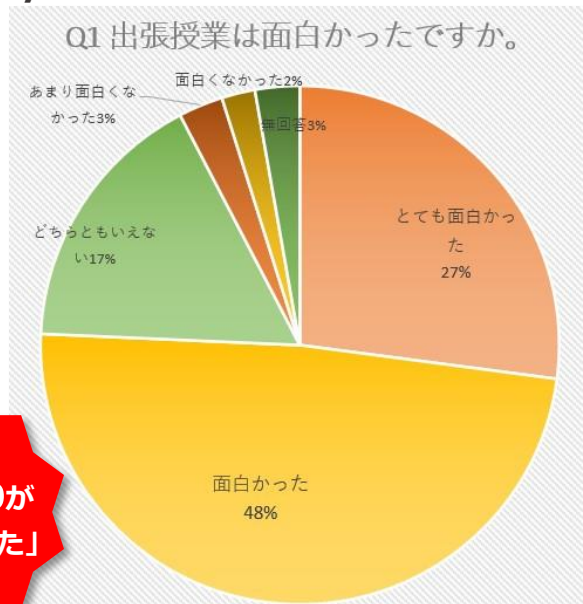
未来をつくるkaigoカフェ
SNSより

中学高校での出張授業 評価

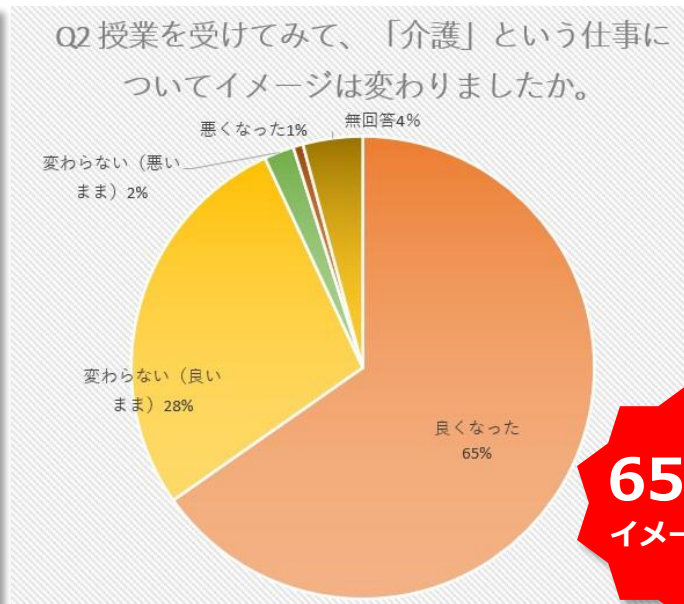


想定ターゲット
若年層

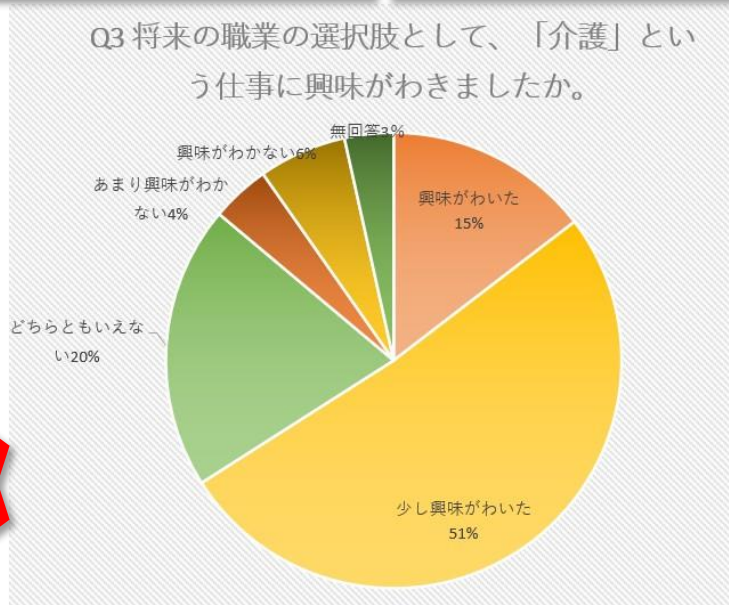
<第5回目：1/27実施 大阪府・枚方市立中宮中学校>



75%が
「面白かった」



65%が
イメージUP



51%が
介護の仕事に
興味UP

コミュニケーション能力が大切。様々な人とつながれる仕事。尊厳を守る事ができる素敵な仕事だという事が分かりました。福祉の仕事に就きたいと思っていたので、いい機会でした。福祉の良さ、楽しさを深く学べて良かったです。

自分の祖父母、両親にも介護が必要になったらと考える事が増えてきたので、今回お話を聞いて良かったです。職に就く事ができなくても福祉関係に違った形で少しでも関われたらなと思います。

私も人と関わる仕事に就きたいと考えていたので、今回の授業でこれからの自分の将来の選択が増えました。

自分も介護職に就いてみたいと思っていて、今、理学療法士も考えていて、今日の講話でもっとやってみたいという気持ちが大きくなり、2つとも資格をとりたと思った。おじいちゃん、おばあちゃん、人と関わる事が大好きなので、専門に進学して頑張ろうと思いました。頑張るきっかけをくれて、ありがとうございました。

介護のやりがいについて知ることができました。日本は少子高齢社会だからこそ、仲間や地域の人みんなで支えあって、協力し合う事が大切だと思いました。自分の趣味や特技が誰かのためになるというのは良いと思いました。

今までは、介護について特に何のイメージもなかったけど、話を聞いて、良いイメージを持った。SDGsにも、福祉についての目標があるから世界のためにもなっているという事が分かった。

介護を通じて、地域を明るくしようとしている皆さんの話を聞き、自分の身の周りでも感じる事が多々あるので、これからは日本の介護制度を改めていきたいと思った。

自分の親も介護の仕事をしていて忙しいので大変そうだと思っていたけど、話を聞いてやりがいがあるというのがとても伝わりました。また必ず仕事に就かなくても介護とは関われるという事も分かりました。

介護の仕事で「イライラしないんですか」という質問に対して「あまりイライラしない」という事に少し驚きました。日本に高齢者が多い事は知っていましたが、人口の2割を高齢者が占めている事は初めて知りました。介護には少し興味があつたので、どういう仕事をするのか、また介護をしてどう思うのかを聞く事ができて良かったです。

安心して豊かに生きていくために欠かせない仕事だなと分かりました。元々は看護師と同じく、大変そうだなと思いましたが、今回の話を聞いて楽しそうな仕事だなと思いました。今回の話を聞いて良かったと思いました。

声の掛け方とか対応の方法で、その人の5年後が変わってしまうという事があることにびっくりした。介護はやりがいのある素敵な仕事で、関わり方にも色々あるという事が分かって、話を聞いてすごく良かった。

私の曾祖母が老人ホームで生活していたので、老人ホームへ行った時、これだけの部屋があるから、介護する方も大変なのだろうと思っていましたが、今回のお話を聞いて、楽しく仕事をこなされていると知り、とても興味がわきました。今、介護の不足がよく言われていますが、このお話を聞いてもっとみんなに広まれば良いと思いました。

祖母がお世話になっている老人ホームの介護士さんにご迷惑を掛けていないか心配していたけれど、やりがいを常に感じていると言って下さったので少し安心しました。

最近よくニュースで介護の人手が不足していると報道されているのを見かけます。その原因に、人々の介護に対するマイナスの固定概念があるのではないかと思います。実際私も今回の講演を聞くまでは、介護に対してあまり良い印象を持っていませんでした。しかし、今回の授業で、「将来の選択肢の一つとして、介護も良いかな」と思います。私のように、日本の若者の介護に対するイメージが変わることを祈っています。

介護とは、ただご老人の方を介抱するのではなく、その方々の人権を守るという仕事でもあるという事が分かりました。まだまだ職に就けるような年齢ではないが、来年高校生となる身なので、その時こういったボランティアなどに携われるようにしたいと思いました。本日は、本当にありがとうございました。

考察：福祉・介護の仕事の内容を理解促進し、その存在意義ややりがい、身近感の醸成ができた

オンライン・ワークショップ



想定ターゲット

保護者世代&45歳以上の介護即戦力層

■教職員&保護者世代向け「介護の仕事を知ろう！」ワークショップ

将来の介護人材育成のためには、職業選択の重要なステークホルダーである教職員及び保護者の理解を促進させることが必要だと考えます。前年度事業を実施していく中で、事業者の方々から、「保護者から反対された、先生から反対された」という体験談が多く寄せられたためです。子供の進路選択に伴走している先生や保護者が抱く福祉・介護職へのネガティブイメージを払拭させることを、若年層への直接アプローチと並行して、実施いたしました。



ワークショップ概要

イベント名：「**教師、親として知っておきたい！いまだきケアワークの最新事情と可能性**」オンライン・ワークショップ

- ✓ 開催日程：11月16日（水）19時00分～20時30分（90分）
- ✓ 実施方法：オンライン開催
- ✓ 参加方法：事前登録制
- ✓ 募集方法：教職員向けサービスAsahi Teacher's Roomメルマガ配信、新聞広告等
- ✓ 参加者数：**804人※リアルタイム参加120名+アーカイブ視聴数684回（1/31現在）**
- ✓ 実施内容：講義・講演・ワークショップ
- ✓ 講師：大阪健康福祉短期大学特任教授 川口啓子氏
社会福祉法人京都福祉サービス協会 河本歩美氏 ほか

804人が
視聴

<ワークショップ・プログラム 90分間>

- ・セッション①（約25分）
「知っておきたい「SDGsとKAIGOのしごと」持続可能なまちづくりのために」
講師／川口啓子氏
 - ・セッション②（約20分）
「『HAPPY PLANNINGまちをつくるしごと』ワークスタイル・ライフスタイルって？」 講師／河本歩美氏
 - ・介護職員2名の実生活を交えたディスカッション（約30分）
パネリスト／川口啓子氏
河本歩美氏
田端重樹氏 <社会福祉法人 京都福祉サービス協会 高齢福祉施設 西院 副主任（デイサービスセンター）>
植村真妃氏 <社会福祉法人 京都福祉サービス協会 高齢福祉施設 紫野 介護職員（特別養護老人ホーム担当）>
- ファシリテーター／富岡史穂氏



オンライン・ワークショップ 評価



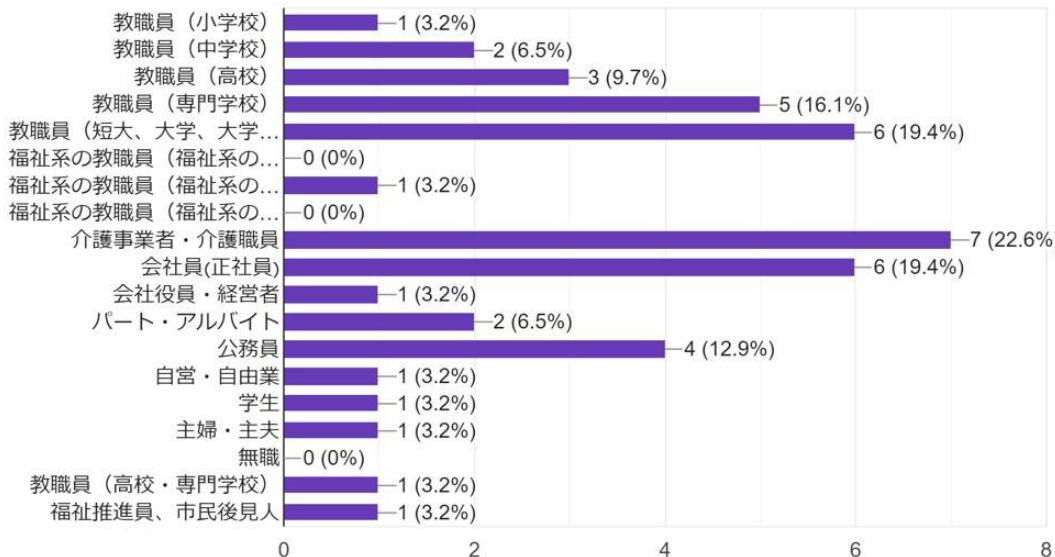
想定ターゲット

保護者世代 & 45歳以上の介護即戦力層

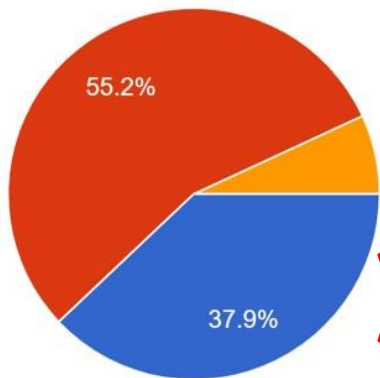
■教職員 & 保護者世代向け「介護の仕事を知ろう！」ワークショップ

▼アンケート結果

Qあなたの職業について教えてください



Qお子さんや生徒・求職者に、介護の仕事をお勧めしたいですか？



93.1%
「強く勧めたい」
「少し勧めたい」
回答

- とても魅力的であり強くお勧めしたい
- 少し魅力的であり勧めたい
- あまり魅力的ではなく勧めることはあまりない
- 全く魅力的ではなく勧めない

<自由回答の抜粋>

・自分のライフスタイルに合わせて仕事ができるといいですね。お給料も多く、夜勤なしでも待遇良ければ子育てもしやすく良いのにな...と思います。

・実際に現場で働いている方の声を聴くと想像以上に大変であると思いつつ、専門的な知識や技術も必要でプロフェッショナルな専門職だと思った。

・介護は「クリエイティブ」という言葉が印象的です。人間が「生きる」ことに関わる奥深い仕事だと思っているので、そのイメージを皆さんに強めて頂いたと思います。どうしたらそれが、多くの人に魅力的に伝わっていくのか、これからも考え続けたいと思います。

・まだまだ色々な工夫で、介護のイメージを変えていけると感じました。生活の中に介護施設が当たり前にある環境、町づくりをして地域との関わりをもつことは今後、必須だと思いました。

・アーカイブを是非残して欲しいです。

オンライン・ワークショップ

想定ターゲット
保護者世代 & 45歳以上の介護即戦力層

■教職員 & 保護者世代向け「介護の仕事を知ろう！」ワークショップ

**1,000部
配布**

▼紙面告知：掲載日10月30日/朝日小学生新聞

▼紙面告知：掲載日10月30日/朝日中高生新聞

▼A4サイズのチラシを作成し配布

朝日小学生新聞
105,284部発行
×計2回掲載
**21万568人
購読**

朝日小学生新聞
10/30
11/03掲載

朝日中高生新聞
40,861部発行
**4万861人
購読**

朝日中高生新聞
10/30掲載

教師、親として知っておきたい!
いまだきケアワークの
最新事情と可能性
オンラインLIVE配信
受講料
無料
(事前登録制)

教師、親として知っておきたい!
いまだきケアワークの
最新事情と可能性
オンラインLIVE配信
受講料
無料
(事前登録制)

日時: 11/16水 19:00~20:30(予定)

申し込み: <https://que.digital.asahi.com/question/11009436>

出演者: 川口啓子氏, 河本歩美氏, 田端重樹氏, 横村真紀氏

教師、親として知っておきたい!
いまだきケアワークの
最新事情と可能性
オンラインLIVE配信
受講料
無料
(事前登録制)

日時: 11/16水 19:00~20:30(予定)

申し込み: <https://que.digital.asahi.com/question/11009436>

出演者: 川口啓子氏, 河本歩美氏, 田端重樹氏, 横村真紀氏

日時: 11/16水 19:00~20:30(予定)

申し込み: <https://que.digital.asahi.com/question/11009436>

出演者: 川口啓子氏, 河本歩美氏, 田端重樹氏, 横村真紀氏

考察：進路を決めていく過程で 身近な保護者や教員への「福祉・介護の仕事」への理解促進のきっかけとなった。しかし職業選択の判断としては「仕事内容」のみならず他要素もあるためこれだけの判断はきびしい。但し、常にこう言った情報提供は必要かと思う

主婦層コミュニティ活用



想定ターゲット

保護者世代 & 45歳以上の介護即戦力層

■ 45歳以上の介護即戦力層に向けた情報発信

子育てが徐々に落ち着いてきた、定年退職し第2の人生をスタートさせた等、45歳前後からの年齢層は介護職や周辺業務の即戦力となり得る年代です。この年代の意識転換は急務であり、仕事の面白さややりがいを伝えることはもちろん、多様な働き方があること等、一步踏み込んだ理解促進を行う必要があります。そこで、40～50代の女性を中心とした読者コミュニティ「Bon Marche」を活用し、当事者を集めた勉強会の開催およびその模様をメディアを通して情報発信いたしました。



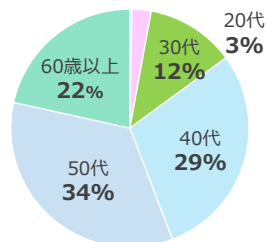
活用概要

- ✓ イベント名：「知りたい！イキイキ『介護』の現場のこと」 Bon Marche勉強会
- ✓ 開催日程：10月5日（水）14時00分～16時00分
- ✓ 実施方法：都内でリアル開催
- ✓ 参加者：45歳前後の女性で、働く始めることに興味がある方 4名
- ✓ 募集方法：Bon Marche読者コミュニティ内で募集
- ✓ 実施内容：介護現場で働く同年代の方々数名を招いた座談会形式の勉強会
- ✓ 講師：NPO法人シニアライフセラピー研究所理事長/「カルチャースクール亀吉」経営 鈴木しげ氏
- ✓ 採録：Bon Marche11月号にて、勉強会の模様を採録（朝日新聞全国版朝刊本紙内 5段多色）。

「Bon Marche」とは？



朝日新聞本紙で毎月1回、掲載されている女性向けライフスタイル特集（2010年春創刊）。日々の暮らしを豊かにする情報を発信しており、主な読者層は40～60代の子持ち女性たち。まさに介護即戦力層に向けた情報発信を行うのに最適の媒体です。

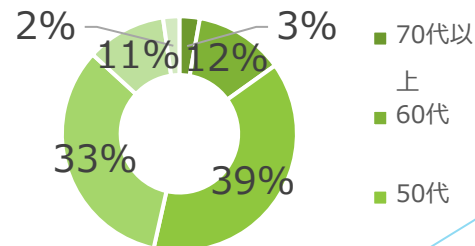


女性読者年代

「読者コミュニティ」とは？

Bon Marcheは、熱心な読者で構成された「ボンマルシェアンバサダー」という登録制の読者コミュニティを組織化しています。現在**3,000名を超える登録者**を抱えており、勉強会やアンケートで、40代・50代の女性のリアルな声を引き出すことが可能です。

▼登録者年代構成（7割以上が40～50代）



<勉強会開催の流れ>

勉強会 参加者募集

読者コミュニティでのウェブアンケート

アンケート回答結果を踏まえた勉強会開催

Bon Marche11月号での情報発信（採録掲載）

主婦層コミュニティ活用

■ 45歳以上の介護即戦力層に向けた情報発信

▼ボンマルシェ特集記事の掲載：朝日新聞朝刊令和4年11月24日付

Bon Marché Special Feature

ボンマルシェの
読者が
“学び”ました

知りたい！ イキイキ「介護」の現場のこと

介護の人材不足が予想される昨今、不安を感じるよりも、まずは、どんな関わり方があるのかを知ることが大切です。そこで、福祉・介護への多様な人材参入を促進する「GO!GO!KAIGOプロジェクト」の一環として、介護の現場を“学ぶ”座談会を実施。4人のボンマルシェ読者が参加しました。

(撮影：濱田菜里／取材・文：角田奈穂子／構成：ボンマルシェ編集部)



教えてくださったのは……
鈴木げんさん [NPO法人シニアライフセラピー研究所理事長
「カルチャースクール亀吉」経営]
すずき-しげ 神奈川県藤沢市で介護する個々の個々の垣根をなくし、
地域の人々で力を合わせ、楽しみ、生きるデイサービスを運営。

近未来に必要な
介護人材は？



※「第6期介護保険事業計画に基づく介護人材の必要数について（令和3年7月9日）」(別紙1より、改変)。

“学び”のまとめ 参加読者の感想は？

介護を通じて地域住民が
つながると、人間関係が豊
かになりますね(ブジョーさん)

いろいろな人生体験が介護
の仕事に生かせることが
わかりました(吉田さん)

介護される側と介護する
側と一緒に働く形もある
ことに驚きました(田中さん)

介護は特別ではなく、ふだ
んの暮らしと幸せのなか
にあるんですね(中島さん)



想定ターゲット

保護者世代 & 45歳以上の介護即戦力層

企画／朝日新聞社メディアビジネス局 編集／総合プロデュース本部 ボンマルシェ編集部
Art Director: Ryoichi Shirahishi(Shirahishi Design Office) Design: Sakiko Ahe

【広告特集】

未来を明るく輝かせるのは、地域の支え合いと自分の得意を活かす“おたがいさま”の精神！



利用者を中心に地域住民の個性と能力を活かす介護を鈴木さん(写真中央)から聞く、右からブジョーさん、吉田さん、鈴木さん、中島さん、田中さん。新鮮な驚きと気づきが多々ありました。

今ある力をみんなで持ち寄り、工夫して、共に幸せを感じる介護

鈴木さんは「カルチャースクール亀吉」というユニークな名称のデイサービス施設を運営しています。施設のなかには、デイサービスの利用者サポートする側が協力して調理したランチや弁当を提供するカフェ(右中央写真)、手作りパンを販売したり、地域住民が交流できるスペースがあり、集う人たちの間に介護する側と介護される側の垣根はありません。お互いに助け合いながら日々を過ごしています。

鈴木さんは、参加した4人の方々に動画とスライドを使いながら、「私たちの目的は、利用者さんやデイサービスの職員、ボランティアさん、カフェを利用したり、パンを買いに訪れる地域の方たちの誰もが幸せになれる場を作ること」と話します。そして、そのためのポイントとなるのは、「足し算」「幸せが優先」「一般住民の力」の3つのキーワードです。たとえば、高齢で体が弱ったり、認知症になってもできることはたくさんあります。できないことを引き算で考えるのではなく、誰もが主体的に楽しく行動できることを見つけ、その力を多くの人々が持ち寄る「足し算」の方向へ発想を切り替えるのです。「100点満点の日々を目指す」と、課題ばかりが増え、

疲れてしまいます。それよりも楽しむことを優先しましょう。頑張らない、最低限のラインで十分と考えると、不安や焦りが薄らぎます」と鈴木さんは、「日々の幸せを優先する」大切さを話します。

そして、地域で生きる人たちが力を合わせ、「おたがいさま」の精神でチームになると、より豊かな幸せにつながっていく、とも。介護現場に専門知識を持つプロの力は欠かせませんが、日常生活のなかには仕事やプライベートの人生経験が生きてくることがたくさんあります。それらの異なる背景を持つ人が、生活のさまざまな場面で数多く関わることで、これからの介護を明るく輝かせるのです。



専門業務から周辺業務、ボランティア。かかわり方は多種多様です

笑顔があふれる鈴木さんの施設の様子を見聞し、4人の方々の表情は、どんどん柔らかく明るく。有料老人ホームで介護パートとして働くブジョーさんは、「亀吉のみなさんが明るくて楽しそう。発想の転換が大切なんですね」と話すと、グループホームの管理者として働く中島さんも「みんなが幸せになる介護の基本を知ることができて、今日は参加してよかったです。介護は誰もが人生のどこかで関わるものだと思います。少しでも介護の知識があると、必要ときにさっと手助けできますよね。学校で介護を学ぶ授業があったり、若い頃から介護を身近に感じる環境が広がって欲しいと感じました」と勇気をもらったようです。



看護師として訪問看護に携わる吉田さんは、「地域とのつながりは大切。隣の家の人がゴミ出しを手伝うことも、じつは介護の一つなんですよ」と、日頃の体験を通して語っていただきました。ご家族の介護経験もないことから、最初は不安げだった田中さんも「鈴木さんのお話は驚くことばかり。介護のかかわり方はいろいろな形があるんですね。専門知識がない私でもできる介護がありそう、と励まされました」と話していただきました。

朝刊4,298,513部
×2.2人

945万6728人
閲読



主婦層コミュニティ活用



想定ターゲット

保護者世代 & 45歳以上の介護即戦力層

■ 45歳以上の介護即戦力層に向けた情報発信

▼WEB版 掲載日：11月24日 ボンマルシェ 特集記事の掲載

URL : https://www.asahi.com/ads/clients/bonmarche/topics/kaigo_20221124.html

2023年3月31日現在

WEB PV数
284回



読者へ送ったのは……

鈴木 しげさん
NPO法人シニアケアセラピー研究開発学術
「カルチャースクール亀田」 代表

すぎさしげ 神奈川県横浜市で介護する負される側の気持ちをなくし、地域の人々で力を合わせ、楽しみ、生きるデイサービス運営。

近未来に必要な介護人材は？

約211万人 約233万人 約243万人 約260万人

介護現場の急増

約211万人 約233万人 約243万人 約260万人

2019年(推定) 2020年(推定) 2021年(推定) 2022年(推定)

※厚生労働省「高齢介護施設事業計画に基づき介護人材の必要数について」（令和3年7月9日）を引用し、改算、換算を併せて記載しています。

未来を明るく輝かせるのは、地域の支え合いと自分の得意を生かす“おたかいさま”の精神！

今ある力をみんなで持ち寄り、工夫して、共に幸せを感じる介護

鈴木しげさんは「カルチャースクール亀田」というユニークな名称のデイサービス施設を運営しています。施設のなかには、デイサービスの利用者とサポートする側が協力して調理したランチや弁当を提供するカフェ（専売店）、季節のイベントを開催したり、地域住民が交遊できるスペースがあり、働く人たちの間に介護する側と介護される側の垣根がありません。お互いに助け合いながら日々を過ごしています。



鈴木さんは、参加した4人の方々に動画とスライドを使いながら、「私たちの目的は、利用者さんやデイサービスの職員、ボランティアさん、カフェを利用したり、パンを売りに訪れる地域の方たちの誰もが幸せになれる場を作ること」と話します。そして、そのためのポイントになるのは、「足し算」「幸せが優先」「一般市民の力」の三つのキーワードです。

たとえば、高齢者が弱ったり、認知症になったりしてもできることはたくさんあります。できないことを引き算で考えるのではなく、誰もが主体的に楽しく行動できることを見つけ、その力を多くの人々が持ち寄る「足し算」の方向へ発想を切り替えるのです。

「100点満点の日々を目指す」と、課題ばかりが増え、疲れてしまいます。それよりも楽しむことを優先しましょう。頑張らない、最低限のラインで十分と考える、不安や疲りが薄らぎます」と鈴木さんは、「日々の幸せを優先する」大切さを話します。

そして、地域で生きる人たちが力を合わせ、「おたかいさま」の精神でチームになると、より豊かな幸せにつながっていく、とも、介護現場に専門知識を持つプロの力は欠かせませんが、日常生活のなかには仕事やプライベートの人生経験が生かせる場がたくさんあります。それらの異なる背景を持つ人が、生活のさまざまな場面で数多く関わることが、これからの介護を明るく輝かせるのです。



専門業務から周辺業務、ボランティア。
かわり方は多種多様です

笑顔があふれる鈴木さんの施設の様子を見聞して、4人の方々の表情は、どんどん柔らかく明るくなる。有料老人ホームで介護パートとして働くブジョーさんは、「亀田のみなさんが明るくて楽しそう、発想の転換が大切なんですね」と話すと、グループホームの管理者として働く中島さんも「みんなが幸せになる介護の基本を知ることができて、今日は参加してよかったです。介護は誰もが人生のどこかで替わるものだと思います。少しでも介護の知識があると、必要なときにさっと手助けができますよね。学校で介護を学ぶ授業があったり、若い頃から介護を身近に感じる環境が広がって欲しいと感じました」と興味がもたらったようです。

看護師として訪問看護に携わる吉田さんは、「地域とのつながりは大切。隣の家の人がゴミ出しを手伝うことも、じつは介護の一つなんですよ」と、日頃の体験を通して話してくださいました。ご家族の介護経験もないことから、最初は不安だった田中さんも「鈴木さんのお話は聞くことばかり。介護のかわり方にはいろいろあるんですね。専門知識がない私でもできる介護がありそう、と励まされました」と話してくださいました。

介護される側と介護する側と一緒に働く形もあることに驚きました。



田中さん

“学び”のまとめ 参加読者の感想は？

介護を通じて地域住民がつながると、人間関係が豊かになりそうですね。



ブジョーさん



中島さん

介護は特別ではなく、ふだんの暮らしと幸せのなかにあるんですよ。



吉田さん

いろいろな人生体験が介護の仕事に生かせることがわかりました。

考察：介護福祉施設経営者によるリアルな状況をもとに仕事内容についてを考察し「生」の声として採録による拡散ができた



朝日地球会議2022

～希望と行動が世界を変える～

“Hope with Action Can Change the World”



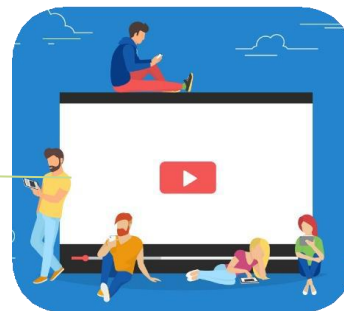
開始期間：2022年10月16日（日）～19日（火）

アーカイブ視聴：[朝日地球会議：朝日新聞デジタル](https://www.asahi.com/eco/awf/)
<https://www.asahi.com/eco/awf/>

朝日新聞紙面

「朝日地球会議特集」

- 朝日新聞全国版朝刊にて掲載！
- テーマ性に富んだ編集記事+広告特集



WEB施策

「ライブ配信」

「オンデマンド配信」

- パネル討論の動画を配信
- CM動画を配信

大型シンポジウム「朝日地球会議」



想定ターゲット

保護者世代
& 45歳以上の介護即戦力層



想定ターゲット

社会課題関心層から
無関心層も含む社会全体

■朝日地球会議2022

社会全体へ積極的なアプローチを行うため、のべ100万人以上が視聴する大型シンポジウム「朝日地球会議」にて、介護の仕事の面白さや未来に向けたあり方について、セッションを実施いたしました。ボランティアも含め約20年にわたって介護職の経験がある「GO!GO!KAI-GO応援団」副団長のお笑い芸人・安藤なつさんと、現在も介助者として活動しながら、介護と社会の新しい形について提言を続ける慶応大大学院教授の堀田聰子さんとともに、これからの介護について考えました。



朝日
地球会議
2022

10.16(SUN) - 19 (WED)

イベント概要

- ✓ イベント名：朝日地球会議2022
- ✓ 開催時期：10月16日～19日 4日間開催
- ✓ 実施方法：オンライン開催
- ✓ 主催：朝日新聞社（共催／テレビ朝日）
- ✓ 視聴者数：（リアルタイム）1万6000人+（アーカイブ）128万3,194人
計 129万9,194人（3/31現在）※事前申込数は約1万283人

合計視聴者数

129万

9194人

✓ パネル討論テーマ

私らしい暮らしのために新しい介護へ

配信日時：10月16日 17:40～18:25

視聴者数：2,412人+TwitterLIVE 67,351人
= 計69,763人

単独視聴者数
69,763人

登壇者

- ・安藤なつ（GOGOKAI-GO応援団・副団長）
- ・慶応義塾大学 堀田聰子教授
- ・コーディネーター 佐藤陽
（朝日新聞文化部記者 be編集部）



時間	セッション展開例
15秒	CM動画放映
約10分	イントロダクション
25分	展開
10分	総括 閉会



大型シンポジウム「朝日地球会議」



想定ターゲット

保護者世代
& 45歳以上の介護即戦力層



想定ターゲット

社会課題関心層から
無関心層も含む社会全体

■朝日地球会議2022

▼地球会議の紙面・web展開

- 220902 特集面 = 見開き
- 220902 公式サイトオープン
- 220924 特集面 = 1コ面 (配信スケジュール、登壇者紹介)
- 221010 特集面 = 1コ面
- 221016~221019 朝日地球会議開催期間
地球会議公式サイトで各セッションを配信スケジュールに沿って配信
- 221017 特集面 = 見開き (採録第一弾)
- 221020 朝日新聞デジタルでセッションのアーカイブ配信開始
- 221108,221109 特集面 = 見開き (採録第二弾、第三弾)

朝刊945万6728人
× 4回
3782万6912人
購読

▼紙面告知：掲載日9月02日/朝日新聞

朝日地球会議 2022
難問ばかり この世界で

長攻が映す転機 読み解く補助線

テクノロジーとヒトの未来は

かんきょう1日学校
9月23日 有楽町朝日ホール

bf
食べることも「美容」です。

▼紙面告知：掲載日11月08日/朝日新聞

朝日地球会議 2022
ロシア国内 渦巻く不満

動員のリアル 伝えない国営テレビ
外資撤退・値上がり 政策変わらず

支え合う介護 おせっかいの輪

非専門職ゆえのメリットも 細田さん「ありがとうが楽しさに」 安藤さん

会敵 驚きの軽さと
収納力が人気のバッグ

大型シンポジウム「朝日地球会議」評価



想定ターゲット

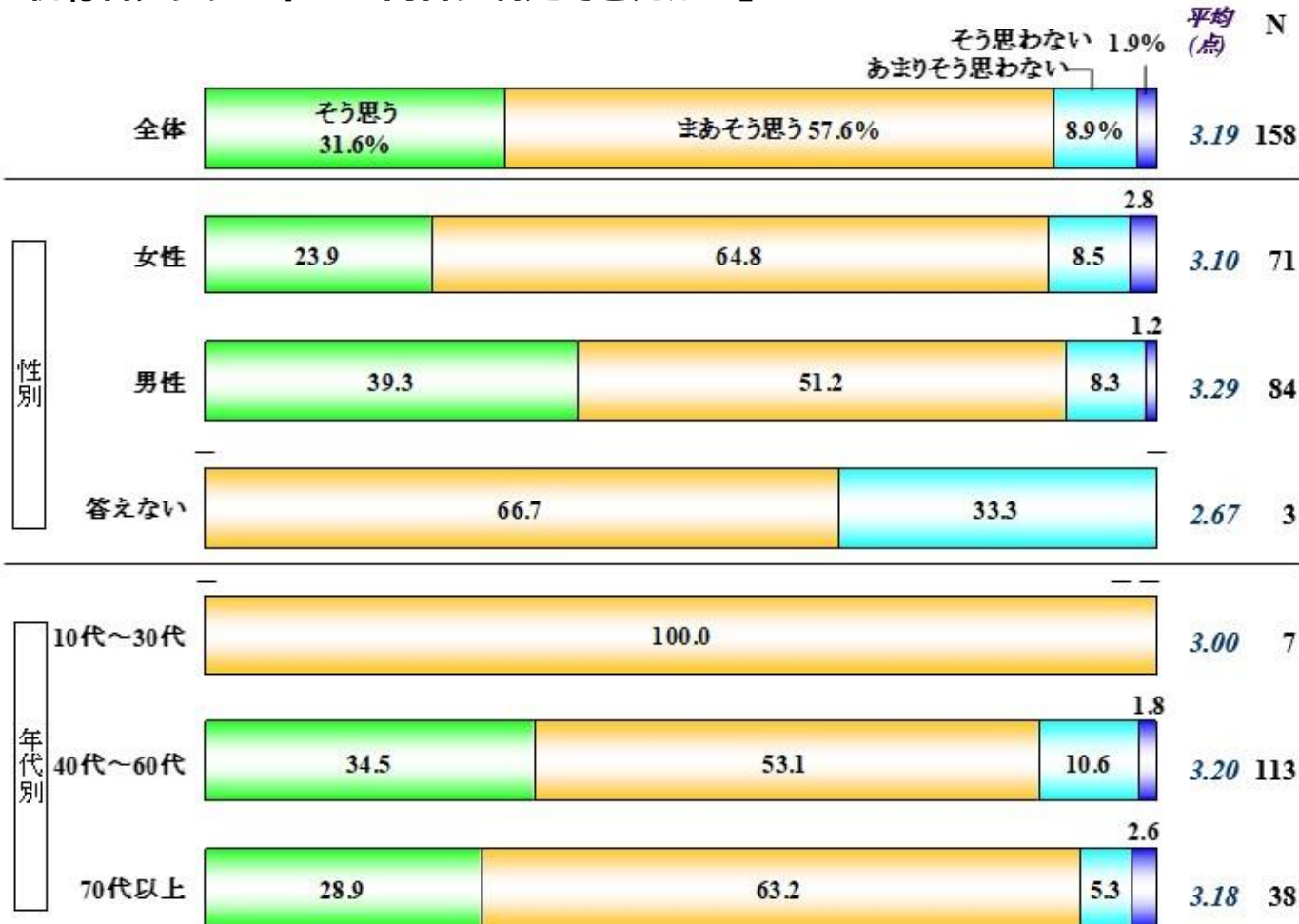
保護者世代
& 45歳以上の介護即戦力層



想定ターゲット

社会課題関心層から
無関心層も含む社会全体

▼ 視聴者アンケート：「内容に満足できたか？」

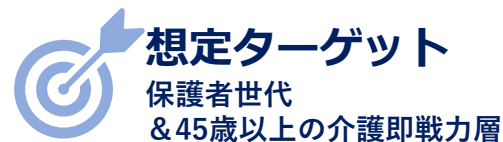


『パネル討論：私らしい暮らしのために 新しい介護へ』を視聴して、**内容に満足できたか**を聞いたところ、「**満足**」が31.6%、「**まあ満足**」が57.6%、「**まあそう思わない**」が8.9%、「**そう思わない**」は1.9%であった。4点評価の平均でみると3.19点である。

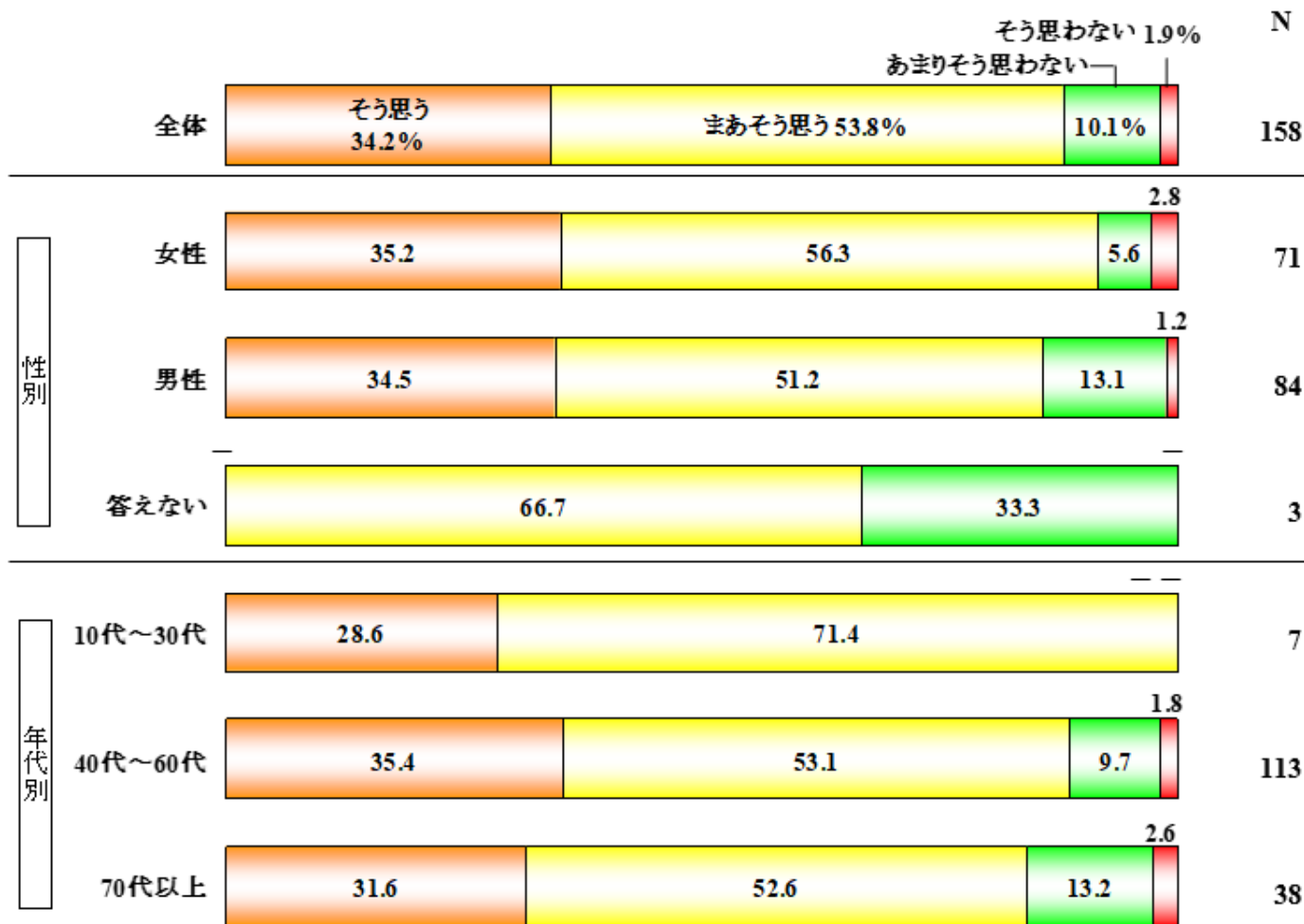
**「満足」
「まあ満足」
89.2%**

(注)「満足」を“4点”、「そう思わない」を“1点”とした4点評価に換算して平均を算出した。

大型シンポジウム「朝日地球会議」評価



▼視聴者アンケート：「内容を自分の暮らしや仕事に生かしたいと思うか？」



『パネル討論：私らしい暮らしのために 新しい介護へ』を視聴して、内容を自分の暮らしや仕事に生かしたいと思うかを聞いたところ、
「そう思う」が34.2%、
「まあそう思う」が53.8%、
「あまりそう思わない」が10.1%、「そう思わない」は1.9%であった。

**「そう思う」
「まあそう思う」
88%**

考察：朝日地球会議に視聴者層は社会課題に関心を持っている人が多いため、このシンポジウムは非常に有効だった。配信はtwitterLIVEと連動しているためアーカイブ含め視聴拡大に繋がった

若年層向けSNS施策



■動画SNS「TikTok」を使った若年層アプローチ

若年層の利用率が高い動画SNS「TikTok」を使い、介護現場を支える最新テクノロジーやGO!GO!KAI-GO応援団のメンバーを取り上げたコンテンツを制作し、若年層に特化した効果的な情報発信を行い、介護のしごとの魅力を訴求いたしました。



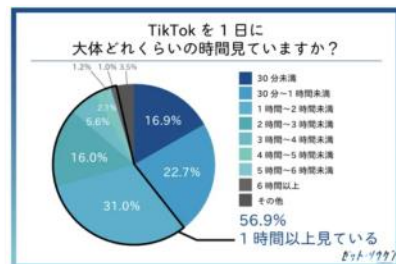
施策概要

- ✓ 媒体：テクノロジー・ライフスタイル系メディア「bouncy」の公式TikTokアカウント
- ✓ 展開時期：第1弾：11月11日配信/ 第2弾：12月8日配信/ 第3弾：1月31日配信
- ✓ 手法：bouncy編集部制作動画をTikTokで配信
- ✓ ターゲティング：TikTokのフォロワー8万人を中心に、10代～25歳までの若年層に配信
- ✓ 動画の内容：介護現場を支える最新テクノロジー等を紹介するオリジナル動画を制作。



TikTokとは？ スマホ向けの動画SNSアプリ

他のSNSに比べ若い世代が多いことが特徴。MarkeZineの調査によると、Z世代のうち56.9%が1日1時間以上をTikTokに費やし、60.8%がYouTubeよりもTikTokで情報収集を行っている、若年層から熱く支持されるメディアです。



動画内容 タイアップ

タイトル：思わず見ちゃう！介護現場のテクノロジー
テクノロジー・ライフスタイル系メディア「bouncy」で普段紹介しているような、介護の現場で使われている最新テクノロジーを早いテンポで簡潔に紹介。思わず「へー！こんなのあるんだ！」と視覚が驚きと発見を伝えていきます。介護職の懸念点として仕事内容がハードなのでは？と想像する人も多いため、技術の力で現場の負担が減り効率化している事例を伝えました。

- ・ 動画仕様：30秒～1分程度。
縦動画、1本1プロダクトの紹介で3本制作。
TikTok視聴者の特徴から長いテロップではなく、視覚である程度説明。
- ・ 制作：bouncy編集部



第1弾 ▶

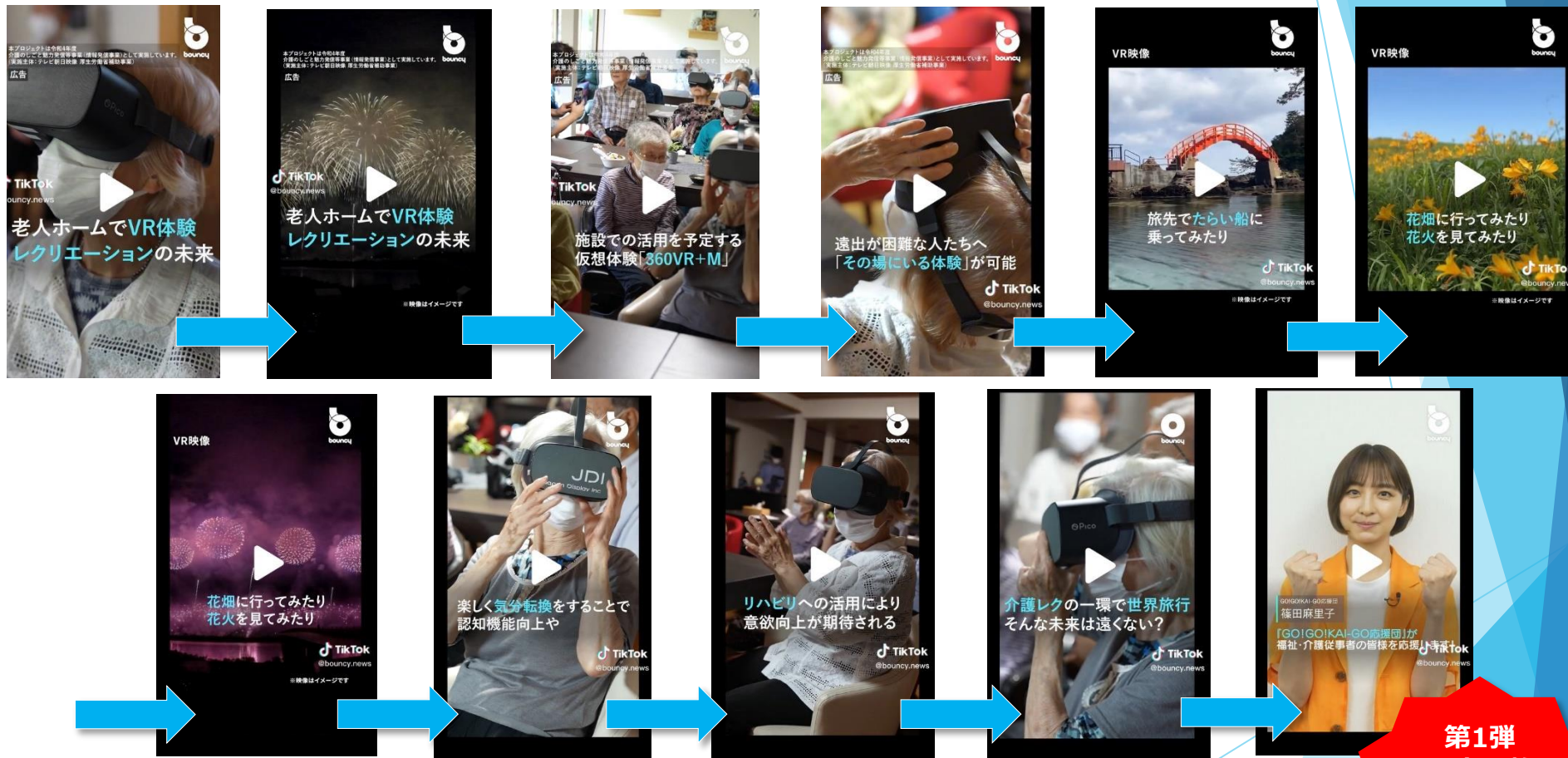
若年層向けSNS施策



想定ターゲット
若年層

■動画SNS「TikTok」を使った若年層アプローチ

第1弾 2022年11月11日配信 ～老人ホームでVR体験。レクリエーションの未来とは？～



11月11日は#介護の日！老人ホームでVR体験。レクリエーションの未来とは？【PR】本プロジェクトは令和4年度介護のしごと魅力発信等事業（情報発信事業）として実施しています。（実施主体：テレビ朝日映像 厚生労働省補助事業）#介護 #GOGOKAIGOプロジェクト

https://www.tiktok.com/@bouncy.news/video/7164591588419669249?is_copy_url=1&is_from_webapp=v1

第1弾
再生回数
339,191回

2023年3月31日現在

若年層向けSNS施策



想定ターゲット
若年層

■動画SNS「TikTok」を使った若年層アプローチ

第2弾 2022年12月8日配信

～倒れても安心？AIが見守る介護の現場。～



倒れても安心？ AIが見守る介護の現場。【PR】本プロジェクトは令和4年度介護のしごと魅力発信等事業（情報発信事業）として実施しています。（実施主体：テレビ朝日映像 厚生労働省補助事業）#介護 #GOGOKAIGOプロジェクト

https://www.tiktok.com/@bouncy.news/video/7174962841915641089?r=1&t=8Y1PooDS8sT&is_from_webapp=v1

第2弾
再生回数
287,195回

2023年3月31日現在

若年層向けSNS施策



想定ターゲット
若年層

■動画SNS「TikTok」を使った若年層アプローチ

第3弾 2023年1月31日配信

～介護にロボット職員!?介護現場は10年後、もっと多様性にあふれているかも?～



第3弾
再生回数
477,254回

3本制作
総再生回数
1,103,640回

介護にロボット職員!?介護現場は10年後、もっと多様性にあふれているかも?

【PR】本プロジェクトは令和4年度介護のしごと魅力発信等事業（情報発信事業）として実施しています。

（実施主体：テレビ朝日映像 厚生労働省補助事業）

<https://www.tiktok.com/@bouncy.news/video/7194306089561722114>

考察：新しい施策により、若者へ向けたアプローチができた

2023年3月31日現在

周知拡散



<第1弾> 配信日時：2022/07/22 11:00

「福祉・介護のしごとの、やりがい・面白さ・魅力を届ける『GO!GO!KAI-GOプロジェクト』が昨年に引き続き今年も始動！各界で活躍する著名人が体当たりで「福祉」「介護」の実態を体験」

2022年7月20日
GO!GO!KAI-GO プロジェクト

福祉・介護のしごとの、やりがい・面白さ・魅力を届ける
「GO!GO!KAI-GO プロジェクト」が昨年に引き続き今年も始動！
各界で活躍する著名人が体当たりで「福祉」「介護」の実態を体験
～応援団に福澤朗さん、介護職歴20年の安藤なつさんなど多彩な顔ぶれが集合～



「GO!GO!KAI-GO プロジェクト」とは？

日本における福祉・介護への多様な人材参入を促進することを目的に、
2021年夏「GO!GO!KAI-GO プロジェクト」が発足しました。
2年目の今年、8月2日「テレビ朝日・六本木ヒルズ SUMMER STATION」にて開催される
「GO!GO!KAI-GO 応援団 2022 始動！～キックオフミーティング～」を皮切りに、
「朝日地球会議」への参加など、年間を通じて公式 SNS および Youtube チャンネルにて
福祉・介護の大切さや未来の可能性を発信していきます。
・「GO!GO!KAI-GO 応援団 2022 始動！～キックオフミーティング～」公式サイト
<https://www.tv-asahi.co.jp/summerstation/>

*本事業は、厚生労働省補助事業「令和4年度介護のしごと魅力発信等事業(情報発信事業)」を活用してテレビ朝日映像が主催します。

「GO!GO!KAI-GO プロジェクト」応援団二期メンバー



● 部長 福澤朗 ● 副部長 安藤なつ ● メンバー 藤田麻里子 ● メンバー BUDDHIS ● 公式応援ソングアーティスト 井上亮子
＜報道関係の方へのお問い合わせ先＞
GO!GO!KAI-GO プロジェクト担当
テレビ朝日映像株式会社 内 GO!GO!KAI-GO プロジェクト事務局：和田
TEL：070-3870-6448

URL：<https://www.atpress.ne.jp/news/318914>

【掲載メディア】

掲載メディア
59件

掲載日	媒体名	掲載日	媒体名
2022/08/08	Dtimes	2022/07/22	excite.ニュース
2022/08/08	LIMIA	2022/07/22	Infoseekニュース
2022/08/08	livedoor	2022/07/22	Mapionニュース
2022/08/08	ニコニコニュース	2022/07/22	NEWS Collect
2022/08/08	@Nifty ニュース	2022/07/22	NEWS Collect
2022/08/04	TVでた蔵	2022/07/22	NEWS Collect
2022/08/03	JCCテレビ	2022/07/22	Newsweek
2022/07/22	ティーズ(TIS)	2022/07/22	rentaloffice.bz
2022/07/22	モノバズ	2022/07/22	Response
2022/07/22	dメニュー	2022/07/22	SankeiBiz
2022/07/22	gree	2022/07/22	SANSP0.COM
2022/07/22	Kirei Style ニュース	2022/07/22	SEOTOOLS
2022/07/22	@Press	2022/07/22	StartHome
2022/07/22	dメニュー	2022/07/22	woman.excite
2022/07/22	ENTAME RUSH	2022/07/22	zakzak
2022/07/22	excite.ニュース	2022/07/22	とれまがニュース
2022/07/22	goo ニュース	2022/07/22	クイックオーダー※
2022/07/22	GREE	2022/07/22	ピズハック!
2022/07/22	LINEニュース	2022/07/22	リセマム
2022/07/22	NEWSCAST	2022/07/22	ロイター.co.jp
2022/07/22	StartHome	2022/07/22	徳島新聞Web
2022/07/22	woman.excite	2022/07/22	投資家ネット
2022/07/22	とれまがニュース	2022/07/22	朝日新聞デジタルマガジン&
2022/07/22	めるも	2022/07/22	財經新聞
2022/07/22	デイリーニュースオンライン	2022/07/22	ノアドット
2022/07/22	ニコニコニュース	2022/07/22	NewsPicks
2022/07/22	Woman Apps	2022/07/22	毎日新聞
2022/07/22	dメニュー		
2022/07/22	@nifty ビジネス		
2022/07/22	Barclay Global BIZ		
2022/07/22	BIGLOBEニュース		
2022/07/22	bizocean※		

400社のメディアに配信し、
各メディアでの取り上げを働きかけました！

Twitter
プロモーション
59,127件

Facebook
プロモーション
5,455件

■介護の日を盛り上げるPR施策を実施

11月11日の介護の日と福祉介護人材重点実施期間を盛り上げるため、地上波テレビ（テレビ朝日）も活用しながら、重点的に話題性のある発信を行いました。



施策概要

- ✓ 実施時期：11月上旬（11/4～17の期間前後および11月11日）
- ✓ 実施内容：

- ① 応援団メンバーからのメッセージ発信
- ② GO!GOKAI-GOプロジェクト プレスリリース配信
- ③ テレビ朝日でのインフォーマーシャル放送

① 応援団メンバーからのメッセージをSNSで発信

介護の日に合わせて、応援団メンバーからのメッセージ動画を発表し、Twitter、Instagram、Facebookを中心に話題喚起いたします。著名人からのコメントで、興味関心が低い層も巻き込み、自分事化を図りました。



② GO!GO!KAI-GOプロジェクトのプレスリリース配信

プロジェクトのプレスリリースを400社以上のメディアに配信し、各メディアでの取り上げを働きかけました。




③ テレビ朝日（地上波テレビ）でのインフォーマーシャル放送

プロジェクトへの注目率を高めるため、テレビ朝日（地上波・関東ローカル）で30秒のインフォーマーシャルを放映いたしました。（11月3日、10日の2回放映）



介護の日PR

① 応援団メンバーからのメッセージをSNSで発信



安藤なつ

2023年3月31日現在

フォロワー 14万5000人

いいね 220

安藤なつ(メイプル超合金) @mapleandonatsu · 11月10日
明日の11月11日は #介護の日! (ポッキーの日でもありますね)

#GOGOKAIGOプロジェクト

家族や友達、身近な人と #介護 について話し合ったり、みんなで #介護 について考えてみませんか~ 🐣



篠田麻里子

2023年3月31日現在

フォロワー 238万人

いいね 800

篠田麻里子 @mariko_dayo · 3時間

明日11月11日は #介護の日!
#GOGOKAIGOプロジェクト

家族や友達、身近な人と #介護 について話し合ったり、皆さんも #介護 について考えてみてくださいね 😊

@GOGOKAI_GO



井上苑子

2023年3月31日現在

フォロワー 20万人

いいね 170

井上苑子 @inouesonoko · 11月9日
GO!GO!KAI-GO応援団 福澤朗団長にオリジナルソングを披露しました 🎵

本当に書いてる途中だからお恥ずかしい!
でも一生懸命取り組んでおります!
ぜひとも!
ご覧ください!

youtube.com
【GO!GO!KAI-GOシーズン2_#3】ただいま制作中...
我らが公式応援ソングアーティスト #井上苑子 が、GO!GO!KAI-GO応援団 #福澤朗 団長にオリジナル...




BUDDiis.official @buddiis · 11月11日

11月11日は #介護の日!
#GOGOKAIGOプロジェクト

BUDDiS.official FUMIYA (BUDDiis)

#BUDDiis の #FUMIYA です!
今日は介護の日!
僕は家族で前回の動画をみながら、改めて介護について考えを深めたいと思います!

皆さんも家族や身近な人と #介護 について話し合ったり、介護について考えてみませんか 🙌

2023年3月31日現在

フォロワー 5万3000人

いいね 474



公式アカウントでも動画付きで話題喚起しました!



介護の日プレスリリース



想定ターゲット
若年層



想定ターゲット
保護者世代 &
45歳以上の介護即戦力層



無関心層含む
社会全体

②GO!GO!KAI-GOプロジェクト プレスリリース配信

<第2弾> 配信日時：2022/11/09 12:00

11月11日は介護の日！『GO!GO!KAI-GOプロジェクト』シーズン2 みんなで介護について考えてみませんか？「つくろう 福祉・介護の未来」をテーマに福祉・介護のしごとの魅力を発信

掲載メディア
36件

【掲載メディア】

2022年11月9日
GO!GO!KAI-GOプロジェクト

11月11日は介護の日！

『GO!GO!KAI-GOプロジェクト』シーズン2
みんなで介護について考えてみませんか？

「つくろう 福祉・介護の未来」をテーマに福祉・介護のしごとの魅力を発信

『GO!GO!KAI-GOプロジェクト』では、親子・夫婦などの家族や友達、恋人など身近な人と「介護」について考えたり、話し合ったりする機会を推奨しております。

プロジェクトではやりがい・面白さ・魅力を届けるために介護従事者、関係者の応援ソングを制作中です！近日詳細公開しますので楽しみに！
応援団メンバーも活動を通して、多くの方々に介護の魅力を感じていただけるよう、情報発信を行ってまいります。

※「介護の日」
高齢化などにより介護が必要な方が増加している一方、介護にまつわる課題は多様化しています。こうした中、多くの方々に介護を身近なものとしてとらえていただくとともに、それぞれの立場で介護を考え、関わっていただくことが必要となっています。介護についての理解と認識を深め、介護サービス利用者及びその家族、介護従事者等を支援するとともに、これらの人々を取り巻く地域社会における支え合いや交流を促進する観点から、高齢者や障害者等に対する介護に関し、国民への啓発を重点的に実施する日を設定することとしました。
厚生労働省 公式HP「介護の日とは」より：
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/woikat/suhogo/kaigo-day/index.html



■『GO!GO!KAI-GOプロジェクト』
名称：GO!GO!KAI-GOプロジェクト
本事業は、厚生労働省補助事業「令和4年度介護のしごと魅力発信等事業(情報発信事業)」を活用してテレビ朝日映像が主催します。

URL：<https://www.atpress.ne.jp/news/332497>

掲載日	媒体名	掲載日	媒体名
2022/11/10	ビズハック！	2022/11/10	ビズハック！
2022/11/09	@Press	2022/11/09	@Press
2022/11/09	ENTAME RUSH	2022/11/09	NewsPicks
2022/11/09	LINEニュース	2022/11/09	Newsweek
2022/11/09	NEWSCAST	2022/11/09	Response
2022/11/09	ニコニコニュース	2022/11/09	SANSPO.COM
2022/11/09	モノバズ	2022/11/09	SEOTOOLS
2022/11/09	@nifty ビジネス	2022/11/09	StartHome
2022/11/09	Barclay Global BIZ	2022/11/09	woman.excite
2022/11/09	BIGLOBEニュース	2022/11/09	zakzak
2022/11/09	bizocean※	2022/11/09	とれまがニュース
2022/11/09	excite.ニュース	2022/11/09	クイックオーダー※
2022/11/09	Infoseekニュース	2022/11/09	ジャパニーズ インベスター オ
2022/11/09	Mapionニュース	2022/11/09	ロイター.co.jp
2022/11/09	NEWS Collect	2022/11/09	徳島新聞Web
2022/11/09	NEWS Collect	2022/11/09	朝日新聞デジタルマガジン&
2022/11/09	NEWS Collect	2022/11/09	財経新聞
2022/11/09	NEWSPicks	2022/11/09	ノアドット
		2022/11/09	rentaloffice.bz
		2022/11/09	リセマム

400社のメディアに配信し、
各メディアでの取り上げを働きかけました！

Twitter
プロモーション
51,497件

Facebook
プロモーション
1,321件

周知拡散 (SNS)

前年度立ち上げた公式のTwitterアカウントに加え、Instagram (Facebookと連動) のアカウントも立ち上げ、隔週の頻度で定期的に情報発信を行い、プロジェクトの取組拡散に務めました。

■ アカウントページイメージ

・ Twitter



85 件のツイート

プロフィールを編集

【公式】GO!GO!KAI-GOプロジェクト
@GOGOKAI_GO

#GOGOKAIGO プロジェクトは、年間を通じて様々なイベントを実施し、福祉・介護の大切さや未来の可能性を発信していきます。本事業は、厚生労働省「令和4年度介護のしごと魅力発信等事業(情報発信事業)」を活用して、テレビ朝日映像が主催します。#福澤朗 #安藤なつ #篠田麻里子 #BUDDHISM

40 フォロー中 211 フォロワー

PV数 2,217,627回

・ Instagram

投稿15件 フォロワー57人 フォロワー中28人

プロフィールを編集

Instagram

9,018回

・ Facebook

GO GO Kai-Goプロジェクト

3件の「いいね!」、57人のフォロワー

2023年3月31日現在

PV数 1,258回

■ アカウント

▼twitter | https://twitter.com/GOGOKAI_GO

▼Instagram | http://instagram.com/gogokai_go/

▼facebook | <http://fb.me/gogokaigo2021>

プロフィール：『GO!GO!KAI-GOプロジェクト』は、年間を通じて様々なイベントを実施し、福祉・介護の大切さや未来の可能性を発信していきます。本事業は、厚生労働省補助事業「令和4年度介護のしごと魅力発信等事業(情報発信事業)」を活用して、テレビ朝日映像が主催します。

周知拡散（インフォーマーシャルCMクリエイティブ）

■テレビ朝日・BS朝日インフォーマーシャル CM30秒

GO!GO!KAI-GOプロジェクトの認知拡大

応援団結成の目的と役割を明確にし公式HPへの誘因促進を目的に制作

▼介護の日ver（30秒）



【ナレーション】
みんなでつくる
福祉・介護の未来



【ナレーション】
11月11日は「介護の日」
です



このプロジェクトを通じて
みんなで一緒に
介護について考えて
みませんか？



【ナレーション】
GOGO
介護プロジェクト



（福澤さんコメント）
GOGO介護応援団が
福祉・介護の仕事に
対するやりがいや
介護を必要とされる
方への接し方の
ヒントを
伝えていきます



【ナレーション】
GOGO介護
プロジェクト！



「GOGO介護」で
検索！

▼ノーマルver（30秒）



【ナレーション】
みんなでつくる
福祉・介護の未来



【ナレーション】
人や技術、施設、
サービスに至るまで
次々と進化を遂げる
福祉・介護の世界
その魅力に迫ります



【ナレーション】
GOGO
介護プロジェクト



（福澤さんコメント）
GOGO介護応援団が
福祉・介護の仕事に
対するやりがいや
介護を必要とされる
方への接し方の
ヒントを
伝えていきます



【ナレーション】
GOGO介護
プロジェクト！



「GOGO介護」で
検索！

周知拡散（インフォーマーシャルCM露出）



テレビ朝日 インフォーマーシャルCM放送

BS朝日・ウェブで配信するイベント連動型体験共有番組『GO!GO!KAI-GO応援団』の視聴誘引を図るため、テレビ朝日（関東ローカル）で本プロジェクトおよびHP告知30秒CMを放送。



- ▼放映局
テレビ朝日（関東ローカル）
- ▼放映時期
22年11月、23年2月 実施
- ▼秒数
30秒

テレビ朝日関東ローカル視聴可能世帯数
19,866千世帯。
地上波テレビのメディアパワーで、
番組視聴へとつなげます。

合計視聴率
25.1%
のべ1004万人
が視聴

幅広い視聴者へのリーチを目的に情報番組にて放送

- | | | |
|---------|--------------------|---------|
| 11 / 03 | 「羽鳥慎一モーニングショー」 | 個人 5.0% |
| 11 / 10 | 「羽鳥慎一モーニングショー」 | 個人 5.0% |
| 2 / 06 | 「激レアさんを連れてきた。」 | 個人 2.2% |
| 2 / 08 | 「グッド!モーニング（7時台）」 | 個人 4.1% |
| 2 / 08 | 「かまいガチ」 | 個人 2.0% |
| 2 / 09 | 「スーパーJチャンネル（17時台）」 | 個人 3.0% |
| 2 / 10 | 「スーパーJチャンネル（17時台）」 | 個人 3.8% |



周知拡散（テレビ番組での取り上げ）

■テレビ朝日 関連番組

▼2022/08/03

テレ朝「グッド！モーニング」内で特集を放送



8/03
「グッド！モーニング」
番組全体 個人2.7%

個人視聴率
2.7%
108万人が視聴

▼2022/08/10

ミニ枠 テレ朝 ドラマ再放送枠にて放送



8/10 再放送ドラマ枠
ミニ枠放映 13:54
個人1.6%

個人視聴率
1.6%
64万人が視聴

■他局 出演番組

▼「GO!GO!KAI-GO応援団」より副団長・安藤なつ氏が出演！

- ✓ 放映局：全国・NHK Eテレ
- ✓ 番組名：『ハートネットTV 私のリハビリ・介護』
- ✓ 放映日時：2022年10月18日（火）20：00～20：30
- ✓ 出演者：MC：中野淳（キャスター・NHKアナウンサー）
聞き手：高知東生さん（俳優）
ゲスト：安藤なつさん（お笑い芸人・メイプル超合金）

10/18 NHK Eテレ個人 0.2%



周知拡散 (テレビ番組での特集)

▼特集番組

テレビ朝日系列全国24局 放送「musicるTV」

視聴エリア&放送日時：<https://www.music-ru.com/about/>

▼個人視聴率/関東地区

関東地区では「個人全体視聴率1%」は約40万人が視聴したと推定

※テレビ朝日は、開局以来初の快挙、2022年度世帯視聴率で3冠 個人全体では2冠を獲得



個人視聴率
0.5%
20万人が視聴

「musicるTV」

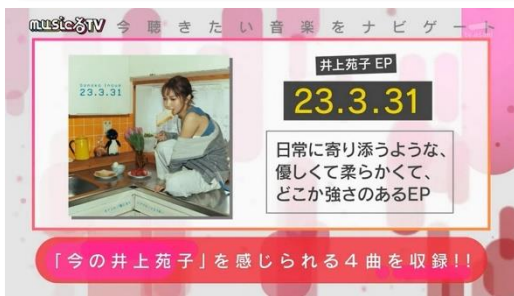
2023年4月3日月曜日 25:26~25:56 (関東地区) OA

特集：井上苑子 EP「23.3.31」(に一さんさんさんいち)



こちらのEPに収録されている温かい歌声が胸に沁みる楽曲
「となりあい」♪

福祉や介護の大切さや、未来の可能性を発信する『GO!GO!KAI-GOプロジェクト』応援ソングにもなっており、井上さんも実際に現場を体験して作った思い出のある楽曲と紹介されました。



周知拡散（新聞）

▼朝日新聞 全国版朝刊

2023年2月11日付 全15段多色

朝日新聞
全国版朝刊
1回掲載

朝刊4,298,513部
×2.2人
945万6728人
閲読

考察：周知拡散告知としてテレビ番組、CM、YouTube、SNS、新聞等でリーチ獲得ができた

特別 広告特集



Go!Go!
KAI-GO
プロジェクト
～つくるよ! 福祉・介護の未来～

福祉・介護のしごとのやりがいや 魅力、可能性を届ける

「GO!GO!KAI-GOプロジェクト」は、福祉・介護への多様な人材参入を促進するため、2021年度に発足、年間を通じて体験型・参加型のイベントを実施し、福祉・介護の大切さや未来への可能性を発信しています。アナウンサーの藤澤陽さんを中心に、「福祉・介護の世界で活躍する人々の力になりたい」と集まった著名人たちで結成された「GO!GO!」が今年度も盛り上げます。新たに、藤田麻美子さん、BUDDIS、公式応援ソングアーティストとして井上亮子さんが参加、幅広い世代のメンバーたちが福祉・介護のしごとを体験し、BS朝日特番「GO!GO!KAI-GO応援団」や、定期配信WEB動画を週に1レポートしていきます。

本日、2月11日(土)午後3:00～3:30
BS朝日「ニッポンの福祉・介護にエールを!
～GO!GO! KAI-GO応援団～」



GO!GO!KAI-GO応援団のみなさん



代表理事
藤澤陽



GO!GO! KAI-GO
ソングアーティスト
藤田麻美



ソングアーティスト
井上亮子



GO!GO! KAI-GO
プロジェクト



GO!GO! KAI-GO
プロジェクト

今年度を実施したイベント

「テレビ番組」が実家にも入る
SUMMER STATIONにて
放映された

GO!GO!KAI-GO応援団
2022始動!
～キックオフミーティング～



若年層・学生向け

部小サマースクール
中学・高校への出張授業



職員・保護者向けセミナー

講師、親として知っておきたい
いまだきアワークの
最新事情と可能性



女性・主婦向け

ボンマルシェ
読者懇話会



社会関係機関

毎日地球会議2022
私らしい暮らしのために
新しい介護へ



「GO!GO!KAI-GOプロジェクト」シーズン2 YouTube公開中!
https://www.youtube.com/@gogokai-go5058

GO!GO!KAI-GO
プロジェクト



みんながワクワク
新時代の福祉・介護



たいま制作中
福祉・介護の応援ソング!



「介護の朝」
インフォマーシャルCM



厚労省
Ministry of Health, Labour and Welfare

「GO!GO!KAI-GOプロジェクト」は、年間を通じて様々なイベントを実施し、福祉・介護の大切さや未来の可能性を発信していきます。
本事業は、厚生労働省補助事業「令和4年度介護のしごと魅力発信等事業（情報発信事業）」を活用して、テレビ朝日特番が主となります。

実施したオンラインイベントは、こちらでご覧いただけます。
https://www.asahi.com/ads/gogo-kaigo/

考察

本事業実施における考察として

<総評>

- ①2021年度よりスタートした「GO!GO!KAI-GOプロジェクト」も本年度第2期を無事に終えることができました
基本コンセプトは「（介護を）他人ごとから自分ごとにする」を継承し「若年層」に加えその「保護者世代」を新たにターゲット設定し昨年同様「45歳以上アクティブシニア」「社会無関心層」への「興味喚起」を促進しました
- ②昨年度からの「わかりやすい」コンテンツ制作・発信を継承しつつ 今期の大きな目玉企画としては福祉・介護関連に携わる皆さんへのオリジナル応援ソングの制作実現しました
- ③GO!GO!KAI-GO応援団メンバーも更にパワーUPしたタレントキャスティング
- ④SNSを積極活用し発信力強化をはかりました
- ⑤各層毎に的確な施策の設定、キャスティング、コンテンツ作りを徹底した事により訴求力UPになりました
- ⑥キックオフイベント、11月介護の日、2月応援ソング完成及び番組放送と主要イベント（行事）タイミングでのPRプロモーションの強化する事ができました

<コロナ感染拡大予防対策>

今年度はオープニングキックオフイベントから各イベントを実施できました

コロナ対策も万全を期し 収録・イベント実施等時に業務におけるコロナ感染拡大は一切ありませんでした

本事業実施における考察として 〈各事業について〉

体験型番組GO!GO!KAIGO応援団のWEB・テレビでの配信、大規模イベント実施	<ul style="list-style-type: none">* 3層のターゲットに向けた最適なプランニングを行うこと、応援団メンバーのタレント力を生かして分かりやすく且つ興味喚起できるコンテンツ内容・表現を工夫して制作した。* テレビ朝日、朝日新聞の持つ媒体力を通じて発信したため、成果が上がった。話題環境、リーチ拡大は想定内である。* しかしリーチした人の態度変容については一部測定が不能である点は今後の課題。
小学生向けイベント「朝小サマースクール」／中高での出張授業開催	<ul style="list-style-type: none">* 朝日中高生新聞の事業実績と媒体力、セミナー講師とその内容が奏功した。* イベント事業であるため事後アンケートにより効果測定が可能であった。
教員・保護者向けワークショップ開催	<ul style="list-style-type: none">* 学生の将来について一番近い保護者及び教員に向けてピンポイントで「介護職」選択の意識向上・啓蒙に寄与できた
主婦コミュニティを使った勉強会	<ul style="list-style-type: none">* 介護福祉従事者との懇親会により未来の福祉介護の仕事内容の理解促を寄与できた
大型シンポジウム「朝日地球会議」でのパネルディスカッション	<ul style="list-style-type: none">* 有識者はそもそもの関心を持っているため、参加によりさらに社会的評価が高まることは想定範囲内である。マス層に関しては、最大公約数をどことして訴求するかが難しい。* アプローチ手法について、有識者に関しては、より具体的でより知的なコンテンツの提供が効果的と考えられる。マス層に関しては、分かり易い楽しいコンテンツ提供が重要と考えられる。
動画SNS「TikTok」を使った若年層アプローチ	<ul style="list-style-type: none">* 新しい施策により、若者へ向けたアプローチができた
テレビ・新聞・SNSを使い分けた情報発信	<ul style="list-style-type: none">* 各メディア毎の露出によるリーチ拡大を図ることができた